京城日報

金剛山遊記 蘇峰生（日遊雑記）

九、造化の一大文章

長安寺の公孫樹＝鳴淵潭は日光か＝歇惺樓前の眺望＝正陽寺の大般若經藏＝萬瀑洞の絶景＝摩訶衍＝火龍潭上の午餐

十四日朝、誦經の聲にて眼を覺ませば、身は長安寺の客殿の一隅なる温突の中に寝て居たのである。斯くて、起き出て見れば、成程、こゝは**内金剛の第一關門**とも言はるゝ程であつて、寺も立派であるし、景勝も尋常でない。僧侶の中に、京都妙心寺に遊學したといふ若僧あつて、それが當寺の監事といふことで、その者の案内で見物した。が、別段目を駭かすものも無かつた。但、神仙樓といふ樓臺の傍に、天を摩して立ちたる公孫樹は、定めて數百年の歷史を持て居るものであらうと思うた。

吾等は、此日は、長安寺を見物したれば、出發は九時になつた。人の話すところによれば、已に外金剛を見た目には、内金剛の景色は目を驚かすに足るものは無い。内金剛は外金剛に比ぶれば規模が小さいとのことであつた。吾等も、半信半疑にて、長安寺を立出で、先づ表訓寺に向うたのである。而して、其の途中の鳴淵潭に至つて、實に其景色の日本内地的であるのに却て驚いた。先づ此邊の景色は、日光と見たらば大差はなからう。それから松雲大師に縁故ある白華庵に行いた。此處には西山大師の碑が有り、又た舍利塔があり、又、三箇の古墳があつた。墳は誰の墓かと訊いたけれども、別に答へるものも無かつた。白華庵の入口に有名なる天然石に佛像を刻したる三佛巖がある。夫れより、表訓寺に行き、**蜜汁やら松の果やらの馳走**に與り、こゝから七町の急坂を登つて、正陽寺に著いた。正陽寺には歇性樓とて、山頂の鳥目的觀覽には、最も好き位置に在る。此處より眺むれば、**金剛の諸峰は恰も山の分列式**でも見る如く、一目瞭然と見えるのである。こゝにて、漸く一人の僧侶を尋ね出して湯を貰ひ、喉を濕し、有名なる大般若經藏を見たが、此の藏經は等しく海印寺版では有るけれども、我が增上寺のよりも少し新らしきかと思はるゝ。これより再び表訓寺に下りて、萬瀑洞に向ひたるが十一時半であつた。溪流に沿うて溯れば、此處に復、自然石の金剛門が有る。吾等は、既に、これにて、**三つの金剛門を潜つた**のである。其一は外金剛である。其二は新萬物相である。其三は即ち此處である。こゝを越ゆれば、所謂萬瀑洞の入口に出るのである。若し外金剛の絶景が、玉龍洞でありとすれば、内金剛の絶景は、予が見たる限りに於ては、萬瀑洞であらう。曾て橋本雅邦の白雲紅葉の圖を見、其の畫趣の直ちに造化の呼吸に接したるが如きを見て、何れより其の粉本を捉へ來りたりかと疑ひ居たるに、此處に來りて見ば、それ以上の粉本が、帶にて掃く程、澤山ある。此處は三箇の溪流相合し、三叉を爲すところで、青鶴峰、香爐峰、五賢峯其間に屹立し、**水石の奇、雲樹の妙**、殆ど造化の大文章を觀る心地がする。谷間の廣き一枚岩に、楊蓬萊の書と言ひ傳ふる蓬萊楓嶽元化洞天の八大字が飛躍せん許に刻まれてある。是より、鎖を傳うて絶壁を攀登れば普德窟である。是は**法起峰の中腹に一本の鐵柱に支へ**られて出來た庵で、其上に登ればゆら／＼する感がある。しかし、斯るところは寧ろ下より眺めた方が妙味が有つて、自ら其場所に至り見れば、却て、見るところが少いのである。夫れより、所謂、萬瀑洞の八潭を過ぎて、目指す摩訶衍に到著したのは午後一時であつた。

摩訶衍は、金剛山彙の高地であつて、此附近約二平方里は、高原である。されば、摩訶衍は高きところにはあるが、眺望は却て思ふ程は無かつた。こゝでは松蕈の收穫最中であつたが、随行の淮陽郡書記及び補助憲兵の鮮人諸子は、吾等が炒豆を嚙む如く頻りに之を嚙んだ。

夫れより、更に引返して、八潭の一なる火龍潭にて、一時半に午餐をとつた。此時は、吾等五人の他、表訓寺より隨行し來れる僧侶、また淮陽郡書記、補助憲兵、摩訶衍より從り來れる二人の僧侶、其他昨日來吾等を曳きたる車夫など彌次的に隨行し、同勢十數人に上り、頗る振うたのである。此處にて、**紅葉を枝折りて湯を沸**かすやら、虎の子よりも大切に、京城より携へ來れるチヨコレートを喫するやら、又は鮮人の仲間は、摩訶衍よりの料理に舌鼓を打つやら、賑かなことであつたのである。

斯くて、歸途はまた、普德窟の下にて鮎貝氏一行に出會した。氏等は今朝末輝里より來たのであつて、擔軍には澤山の麥酒瓶を荷はせて居たが、聞けば、今夜は摩訶衍にて一泊するとのことであつた。

斯くて、表訓寺に著したのが三時で、長安寺に著いたのが四時前十分、夫れから巨搭里の古塔を見て末輝里に著したのが五時四十分であつた。これで、愈、金剛山の觀覽は終へたのである。吾等は末輝里の頃日迄面役所であつた宿屋にて、雞肉を剖きて、心ばかりの宴會を催したのである。

金剛山スケッチ（九） 前川千帆

列強大戰

▲斯戰重大 塞軍敵軍に劣る

二十二日塞國に於ける戰は頗る重大の性質を帶べり塞軍は二箇處の戰線に於て戰ひつゝあるが兩所共兵數著しく獨墺軍に劣れり南方に於ける連絡は遮斷せられたり（倫敦電報）

▲露軍捷報

▲ポテオライの西方に於て敵が行ひたる猛烈なる攻撃は擊退せられたり▲ンスコイ湖の南方に於て露軍は若干の進出をなし敵の逆襲毎回とも多大なる損害を蒙りて擊退せられたり▲バツノウイトイの東南に於て露軍はシヨツシ高地を占領し千五百八十八名の捕虜を得たり▲スター河の下流に於ては更に二千八百八十五名の捕虜を得たり（露都電報）

▲伊艦砲擊參加

巴里來電に依れば伊太利艦隊は聯合艦隊の勃牙利海岸砲擊に參加したり（紐育電報）

◎一變化乎 帝政問題と日本

最近の日本の形勢が一方ならず帝政派を狼狽せしめたるもの〻如く某有力なる政府員は日本の激烈なる干涉あらば國體變更は直ちに取消すべしと語れる如き或は擧行の筈なりし國民會議中央選擧を延期したるが如き若しくは機關新聞の昨今何んとなく活氣を失へる感あるが如き最近帝政問題に一變化を來たせるにあらずやと觀測するものあり（北京特電）

◎大演習終了 勅語を賜ふ

青森縣下に於ける特別大演習は二十三日を以て終了し御統監の大元帥陛下は將卒一同に對し左の如き優渥なる勅語を賜はりたり（東京特電）

勅語

朕親シク此ノ演習ヲ統監シテ爾等將卒ノ實施セシ所ヲ見ルニ其ノ成績槪子良シ方今世界ノ形勢ハ爾等ノ一日ノ偸安スルコトヲ許サス爾等其レ自ラ足レリトスルコトナク倍々努力シ以テ他日ノ大成ヲ期セヨ

□共進會入場者

廿三日（土曜日、晴朗月デー）

▲晝間 一萬二千三百六十三人
内地人 二、八四二
朝鮮人 七、五三八
支那人 四二
其他の外國人 二七
無料者 一、九一四

▲夜間 六千百九十四人
内地人 四、二九九
朝鮮人 九九八
支那人 三〇
其他の外國人 二一
無料者 八四六

合計 一萬八千五百五十七人
開場以來累計 七十三萬六百四十四人

◎北鮮の雪

二十四日午後當清津地方に降雨あり又奥地茂山地方は降雪あり寒氣益々加はる（清津特電）

◎湯淺陸軍少將

北鮮兵營の檢分及び建築に關し陸軍少將湯淺建築課長一行四、五日前北鮮に來り會寧に赴けるが會寧にて七萬坪の軍用地を買收せりと尚ほ一行は二十四日清津に來り二十五日南下す可しと（清津特電）

◎大味沖繩縣知事

大味沖繩縣知事二十四日朝還遞東上せり（門司特電）

◎スターヂ博士

スターヂ博士二十四日釜關二十五日長崎に向ふ筈なり（門司特電）

雜報

◎御大典奉祝 十日より一週間

御大典奉祝の儀に就ては二十三日午前十一時より京城學校組合議場に於て協議會を開會せり來會する者官民有志卅餘名大要左の如く決定したり

▲奉祝方法 十一月十日和賀式を行ひ府内は一般に休業して尚ほ向ふ一週間府民奉祝の意を表し各戸に松飾り、注連繩國旗提灯等の飾物を為すと共に各町には綠門イルミネーシヨン花車、假裝行列、自轉車競走、競馬、擊劍、活花等の催あり十日及び十七日の兩日漢陽公園に於て各百發の煙花を揚ぐる筈にて花電車運轉の計畫もあり 一般奉祝會は十七日午前景福宮に行ふ

▲學校側の奉祝 府内の各學校生徒は來る三十一日の天長節當日も旗行列を行ふ筈なるが更に十日朝は奉祝の式を行ひ夜は盛大なる提灯行列を行ふべしと

◎山口縣知事一行招待

京城協贊會にては廿四日正午來京中の山口縣知事及び縣會議員一行二十六名を慶會樓に招待し午餐を饗應せり

人事消息

▲中村與資平氏（建築技師）廿四日より三日間の豫定にて平壤へ
▲永見寛二氏（十八銀行副頭取）二十三日入京城ホテルへ
▲山田又三郎氏（同監査役）同上
▲立川三郎氏（大邱覆審法院判事）二十三日入京山本旅館へ
▲赤松範一氏（男爵）廿三日入京原金旅館へ

南言北語

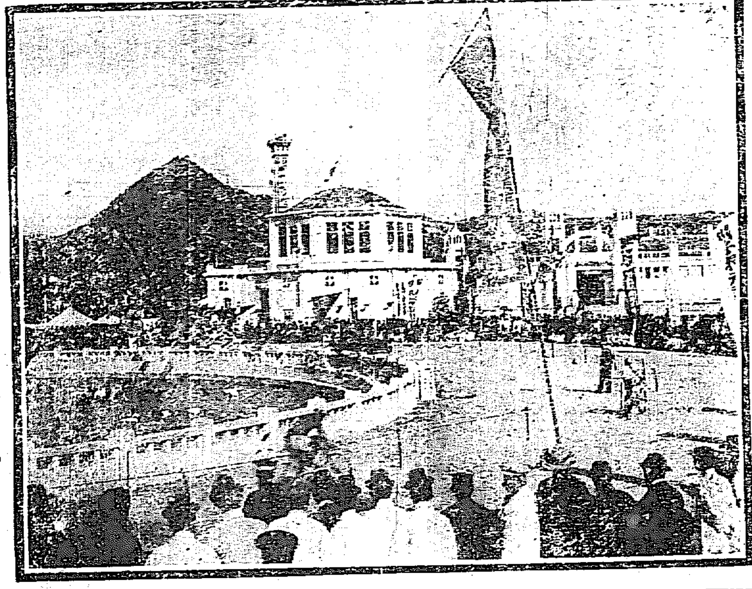
筒井順慶の流を汲んだ羅馬尼も南からは勃軍北からは獨墺軍が壓迫して居る前門の虎後門の狼之でも中立の持續が出來るだらうか疑はしくなつて來た▲ガリポリへ幾萬サロニカへ幾萬と大出兵を揚言した聯合軍も遂に希臘を脅しつける事が出來ない▲海軍にも紙上出兵封鎖と云ふ奴があるが之れは紙上出兵とでも稱へられやう▲其れに反してマッケンゼンは敗けんせと向ふ鉢卷で塞耳維は云ふに及ばず黑山國迄も蹂躙しようと大元氣だ▲サロニカとコツシエに通ずる鐵道も亦た勃軍に奪還されたらしいニッシエの政府と何處かへ逃げた聊か孤城落日の觀がある▲而して勃軍と獨墺軍は最う近距離で連絡するから堪らない▲他方から見て居ても冷々する▲最近の歐洲戰を達觀すると獨逸は對露本攻を中止し西部戰場及び巴爾幹方面に全力を集中して居る戰爭の中心は何時も獨軍の活動する處へ移つて來る▲其處で聯合軍側では若しも何の方面かゞ破れやうものなら大變だ又た獨軍は東西南北何處でも破突しようと一生懸命である▲聯合軍の爲めに比較的手薄なのは巴爾幹であるからマッケンゼンが汗みどろになるのも無理はない▲支那の帝政派は日本政府の態度を見て何だか腰がグラ付きかけたらしい▲なあに其の樣な御遠慮は御無用帝政であらうが共和であらうが鳥渡もお構はない▲但し騷動たんかオツ始めて東洋の平和を攪亂しやうものなら東洋平和の使命を帶びた大日本帝國は其儘では濟まぬ迄の事サ

朝刊と合せて八頁

松旭齋天勝一行有樂館に現る
東京を始め各地で大好評大評判の
世界的大奇術師 天勝孃の
魔術應用の「サロメ」は
奇！怪！妖!!艶!!!
……眞に宇宙の大不思議……
……外一座皆封切大奇術

殊に鳩と……
（御軍用）
森永ミルクキヤラメル
ポケツト入 大金十錢 小金五錢
松旭齋天勝孃大奇術の内に現れたり
變幻極まりなき神技は滿場を唸らせ
森永ミルクキヤラメルの聲と共に
内鮮の嗜好界を震駭しつゝあり
◎重なる奇術（毎日午後六時開場）
▽不思議の扉 ▽滑稽奇術種あかし ▽塔中の美人
▽音樂の合奏 ▽サロメ劇 ▽其他十數番
いろ／＼のニセモノに御注意の上
此の（商標）商標ある森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ
東京 大阪 森永製菓株式會社

自轉車大會の盛況



出た〜素晴らしい人出だ
日曜の大共進會は押すな〳〵

△正午に一萬

秋晴れの氣持よい好日和に二十四日の共進會は閉會も目近かに迫り

□日曜日 ではあり、それに協贊會主催の全鮮自轉車大會、菊花大會と大人氣の催し物がある、ところへ家庭博の日本一の桃太郎行列の共進會訪問まであるといふので素晴しい景氣、共進會行きの

□電車は 來る電車も來る電車も滿員つゞき、光化門通りは紫や矢がすりの羽織がパラソル翳して中折や鳥打の盛裝と嬉しさうに樂しさうに列を作つて打ち續く、何時もの事ながら日曜日の觀客は平日と色彩がすつかり變つて白や水色の鮮人の姿も正服の金筋が影を減じて、春服や

□著流し の靜かな落ち付いた群れが七八分を占めて居るのも面白い、それに今日は日曜日にも拘らず入場料を平日と同じに割下げたので老人子供は勿論女中さんや鮮童まで連れた家族總出のお客が殊の外多く十二時には早くも

□入場者 一萬數千といふ數に達した、それで尚ほ續々と雪崩を打つて押し掛ける客絕えず、光化門前の入口には守衛長自ら出張して混雜を避けさせてゐる始末、その二列に爲つた入場者は五間六間に伸びたり二三間に縮んだりしては居るが寸時も途切れる時は無い『十二時過ぎまで此樣にお客さんの續く事は今までありませんでした、充分三萬以上になりませう』とは守衛長の話し

△自轉車競走

場內はと見れば各館の賑ひと言ふも更なり、東拓館前、池畔を取り卷いた山の樣な見物は自轉車競走を見んものと集つた一群、中には莚を敷いて一日腰を据えての見物準備怠りなく

▽辨當まで 用意したのもある北方池畔に高く誠る紅紫に彩どられた七本の優勝旗は今日を晴れの双輪界の覇者を待ち、審判員、掛官の天幕內には選手申込者絕えず十二時早くも七十名に達し、午前九時過ぎから始めた

▽豫選競走 が何時終るやら知れぬ忙しさ各選手は申込順で五名宛空砲を合圖にスタートを切て輪光勇しく駈け出す、八方から應援の聲が雨の樣に降る、三回目に鈴を鳴して次回の決勝を報ずる頃は選手何れも空を翔けるかと思はるゝばかりにペタル踏み占め〳〵先を爭ふ、斯くして第一二、三着までを豫選して午後二時頃までに漸つと第一の豫選競爭を終つた

△美しい菊花

協贊會場內婦人子供の休憩所は今日は『日本一の桃太郎』に占領されて『日本一の桃太郎一行休憩所』と大きな立札が立つて居る各興行物から寳店の方を嬉々として徜徉する客で一杯慶會樓の菊花陳列場に入れば二十三日既に晝間四千五十九名、夜間五千四十六名の入場者があつたと守衛君の自慢に違はず六百餘鉢の市內菊花の珍品逸物を陳べた間に靜かに、何れも去りやらぬ面持で、その香とその色を賞してゐる人が數百名中には手帳を出して新奇な菊の種類を書き留めて居る熱心家もある、一度ではとても見切れぬとあつてベンチで休んでは又入念に一つ〳〵味つて行く人もある、大正の君一以下の新物ださうしては大正四年の新生のまだ名さへ付けられて居らぬ新種が出品されてゐたのも愛菊家の眼を惹いた

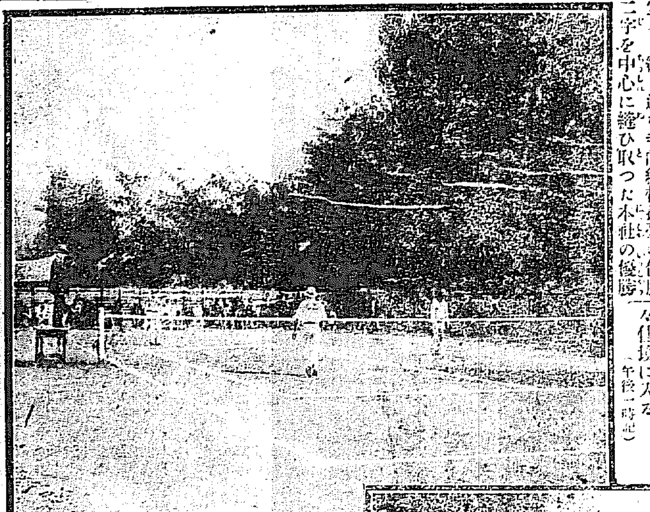
鐵腕に鳴る魔球熱球
本社主催全鮮庭球大會の壯觀
野次團の熱狂せる應援振り

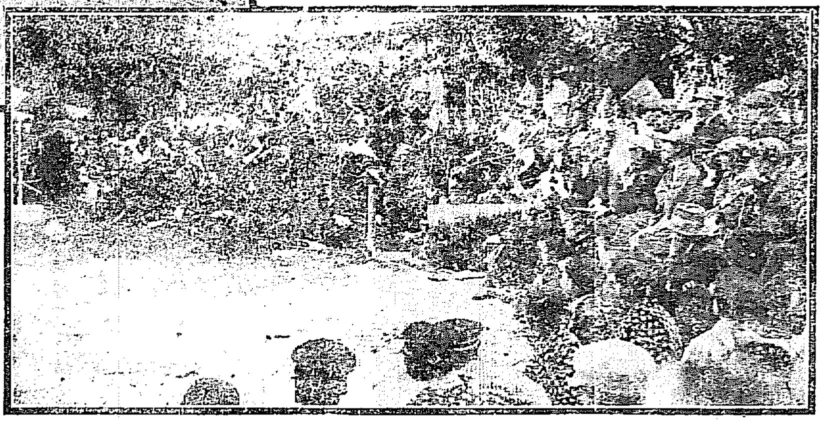
愛球狂數萬の健兒の血を沸かし腕を鳴らした庭球大會の日は來た二十四日朝來天晴れ氣清くきことあつらへ向きの

▨庭球日和 揃て加へて日曜とあるので或は徒歩で或は電車にのつて龍山鐵道コートへ向ふもの引きもきらず此日の晴れの舞臺たる鐵道運動場コートは蟲々たるポプラの繁みに取圍まれて場內一塵を止めず宛ら禁苑のやう。折から聞こえるは鐵道側の應援歌『天は晴れたり秋高く、名譽の旗風打靡き』の歌聲に連れて紫句ふ

▨優勝旗を 朝日に輝やかせ數百の野次團に打圍まれた鐵道選手は堂々と繰り込む寺內總督御寄贈の優勝二字を中心に縫ひ取つた本社の優勝旗は既に四回も連續して鐵道團に占據せられ昨年は時機なく開戰を見なかつたので今度の仕合は殊に期待せられた譯で本社主催の全鮮庭球仕合は本年を以て實に第七回である洗練に

▨洗練を重ねた妙技を以て鐵腕から揃り出す庭球野次の聲援物なしく競技は愈々佳境に入る(午後一時記)





上、全鮮庭球大會
下、應援團の勢援

『妾、明日はお客さまよ』
ホク〳〵もの〻美人連が匆驚五百人

毎日引切り無しの催し物にいやと云ふ程活氣立つた共進會では、廿五日には京城の藝妓、妓生を招待して總見物をさせるといふので、早くも大人氣、大呼物となつてゐる、その美人連の數は五百數十名、先頭には『共進會見物』の大文字を現はした

□縮緬の大旗 押し立てゝ、京城券は二組に爲つて本町券番に集合してから本町府廳前に出て長谷川町に出で太平町本社前から會場の正門に練り進み、中檢番は壽座前に集つて本町を府廳前に出て京城券に合し廣橋組の妓生は

□本社前で集合して羽衣町から黃金町を永樂町に出て本町を府廳前まで練つて南大門通を鍾路通に引返し光化門へと進む、又茶洞連は黃金町の朝鮮館に集合、黃金町から永樂町に出て廣橋通に合する道順、其

□美形連中は 各々俥上に晴れ〳〵しく著飾つて乘り込み午前九時三十分から同十一時までの間に全部會場に入る豫定に爲つてゐる、それが共進會に入るや殊勝氣に先づ各館を御見物遊ばされ午後一時慶會樓の午餐場に集合、協贊會の

□饗應を受け る、この協贊會饗應は千代本、花月、精華亭、喜久家、松葉亭、長春舘の六料亭で引受けたのだが各料亭又日頃の勢に酬ゆるの意味で協贊會の注文以上に大勉強で御馳走すると云へばその美酒珍肴に歡を盡す一場の光景亦

□大見物たる 可く、模擬店の種類はと見れば、すし、うどん、そば、しるこ、朝鮮料理、燒芋、燒栗といふ凝つた珍揃ひなるも有り難い尚ほ此日、此總見の中に一大光彩を添へる大趣向といふのは來京中の新派俳優の珍妙不可思議行列が午後一時から場內に出現、總見連や

□觀客を呼ぶ と云はせようといふそれである、愈々出で〻愈々奇なる協贊會の催物も此日に至つてけだしその絕頂に達したとも云ふ可く、實に共進會の大賑ひは今日此頃、見物に行くのも今を措いては又とその機がないといふ可きか。

煙花大會

協贊會にては二十六日煙花大會を催し仕掛煙花を以て慶會樓前の池を花火の海と化せしむる計畫にて尚ほ打揚煙花百五十發を打揚ぐる筈なり

長途大飛行

大演習に參加したる飛行機中の有力なるもの四臺を選び直隸長澤武田中田各中尉の順序にて來る二十七日所澤に向け長途大飛行を行ふことに決し參加の飛行將校は何れも勇躍し居れり(東京電話)

◎山口縣人の歡迎會 山口縣知事李家隆介氏及び府縣各會議員以下議員等十數名の一行は入京を期とし二十四日夜在京山口縣人會主催にて朝鮮ホテルに是等諸氏の歡迎會を開く

日本一の桃太郎行列
安さん大威張りで共進會訪問
日曜の家庭博は湧き返る賑ひ

日本一の珍行列桃太郎の共進會見物の行といふ廿四日の日曜の家庭博は朝から何となく賑かだ正午過ぎ京城の主なる寳業家が桃太郎行列に參加せしめた廣橋の妓生三十餘名が薄紅色の洋傘を翳して乘り込んでくると間もなく桃太郎に扮した花月の一若、犬に拵へた花月のきし子、清華亭のぽん太、大和家のきく子、雉子になつた辰中のこめ子、梅家のあさ子、紅家の君江、翁姿の花月の花龍、媼姿の高子、お猿さんになつた花月のあさ子など總勢十人選りも選つた可愛い小さいお酌さんばかりが新聞の紙型で造つた鎧を著て繰り込んで來た、そしてカチカチ山の舞臺で綺麗な桃太郎踊があつて二時半頃愈々共進會訪問に出かける事になりました(午後二時記)

日本一の桃太郎 家庭博出陣前の勢揃ひ

▲庭球大會寄贈
▲ラケット二本 日韓書房
▲ネクタイ五筋 三越吳服店
▲紙入半打
▲タオル一打 辻屋商店
▲上等ハンカチ卅枚 松坂屋タオル店

特別廣告 日活專屬 壽座

他館に類なき破天荒の「フィルム」は先づ以て當座の手に歸し愈々二十五日より映寫ご覽に供す

舊劇 鬼若三次 上中下
新派悲劇 女夫波 上中下
探偵劇 幽靈組 上中下
活劇 「ジゴマ」に非ず「バドラ」に非ず無比の雄編是れ果して何ぞ?
日活會社最近(本年九月)撮影

◎女房殺し判決

次郎の承諾を得て上陸し仁川で下女奉公をしてゐる內根が浮氣で育つた……同地[illegible]里高松某の子供を庇うて使はしとなを外堀の溝道に誘ひ出し其不[illegible]力抵抗した爲め絞殺し能はざりしより頭髮を引つ摑み額を大地に當て土[illegible]なつた……途中にて[illegible]は懲役二年の判決を……たが現金二百九十圓許り容れある手記の次第と判明し……[illegible]

天氣 晴れ一時曇 十月廿五日

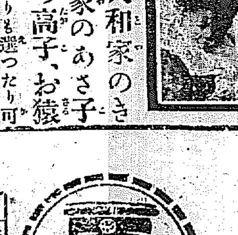
保險金受領廣告

一金五百圓也 被保險人 福原市郎右衛門

右者日清生命保險株式會社と契約致置候處今回死亡に付き頭書の金額正に受領致候間此段江湖へ廣告候也

大正四年十月廿三日 京城古市町十四番地 保險金受領人 福原彥三郎

東京で一番よく賣れる學生帽子は 品質本位の



登錄 商標 日ノ出 向鳥印 NAME THE DURABLE SPECIAL FINISH

日ノ出向鳥印學生帽子 安心して御求めの出來る!!!

■實質は價格以上の優良品
■何卒他品と御比較を乞ふ

最大の特色 全國均一の販賣値段

A號 一個 金壹圓 (商標ハ藍色ニテ印刷)
B號 一個 金八拾錢 (商標ハ茶色ニテ印刷)
C號 一個 金六拾五錢 (商標ハ黑色ニテ印刷)

▲帽子の等級、記號は商標を色刷にて區別せり

製造發賣元 東京 吉安商店

□□ 著名なる帽子洋品店にて御購求の程希ふ 商標御注意

□特約販賣店 京城本町三丁目 淀屋帽子店

英國製二連銃 其他皆相揃

○以上の外皆相揃居候
●紙薬、商上中下各種共
○猟銃、銃袋、猟服地、猟具
●英國製無煙火薬同装彈各種
○護身用拳銃及自働連發拳銃各種
●少年用及大人用空氣銃各種
○內國製單身猟銃及村田銃價十圓方
●米國製有鷄頭及無鷄頭單身猟銃各種
○英ウインチスター自働散彈銃及單彈銃
●英ボネヒル製二連銃價卅六圓以上
○英グリーナー二連銃各種
●英リチャード二連銃各種
○英スコット二連銃各種
●英ハリソン二連銃各種
○以上各番徑共相揃居候

東京市日本橋區通三丁目 日本銃砲店 電話本局 二九九九・一八一三・二三五〇番 定價表を呈す

遠國注文代金引換小包郵便販賣◎振替口座二三三番

少女の友 拾壹月號 (定價拾五錢 郵稅一錢)

懸賞當選發表 ―第一等當選本號掲載―

◎故三津木春影氏作『惡魔ヶ岩』續編

▲泣きながら和蘭へ歸る娘……宇野浩二
▲天保奇聞 里菊物語……立花萬平
僅か十歳で御飯炊きする生徒……森明女學校 小野訓導
根氣よく縫針を拾ひ集めた生徒……淑德高等女學校 松濤教頭

東京市麴町區 實業之日本社 振替口座東京三二六

丸煎(まるはせ)粟粉 荒粉 粟おこし元料一切製造卸

●花園おこし、粟おこし、さゞれいし卸賣

▲原料精撰▲品質確實▲精々勉強販賣仕候間多少に不拘御注文願上候

製造元 大阪西區九條南通 中井荒粉製造部
發賣元 大阪西區花園橋西詰 中井製菓販賣部

來る人來る人福々顔

煙草が當り顔を顰めた基督教信者の西洋婦人と四晩續けて來るといふ人

家庭博の景品引換所に立つてニコニコものぞ鬮い籤を後生大切と握つて福引の景品を受取りに來る人を見てると福運拙なくクラブ齒磨が當つて又一等を引き當てしも

▲皆嬉し相 に面白さうに大喜びで歸つてゆく、たとへ景品が何でも評判の福引に運試めしをするといふ事が餘程面白いと見ゑるのである、暫らく下駄が出る、小説が出る、福神漬が出る飛行機、首ふり人形、共進會入場券、おしるこ券、朝鮮滿洲地圖やサイダーや敷島や割箸五十膳クラブ齒磨一圓票などが最も多く出てくる、中にも面白いのは朝鮮人に辛子漬が當つて判らなくて困つてるのや軍人に

▲飛行機が 當つて無上に喜ぶ事だ、二十三日の夕方西洋婦人が二人連れで來て仁丹と煙草が當り仁丹の當つた方は「アリガトウ〳〵」と喜んだが煙草の當つた方はクリスチヤンと見えて「アイ、ドント、スモーク」と手を振るので仁丹を代りに渡すと相恰を崩して喜んで『アリガトウ』と覺束ない日本語で繰返し繰返し歸つて行つた、又日本人で「私は客のあるたびに

▲家庭博に 連れて來て今日で四晩來るが來る度に何か當るので損はしません」といふて割箸かなんか貰つて喜んで歸つた人もある、賑かな事である、二十三日の四等以上並に白米二斗以上の當籤は左の通りだ

二等泉城通洞一五二鄭種大、四等本町二丁目伊藤寺吉、永樂町二矢島正[illegible]、金泉錢道官舍倉増かん、京城中學洞五八李錦翼、太平通一の四六堀谷男、三等水標町一四岩野金次郎、白米二斗南米倉町二〇高橋和丸、四等京城中學洞[illegible]、二等京城[illegible]、一等京城[illegible]日本円とよ

名手演奏

▽家庭博の筑前琵琶 ▽廿五日より三日間

京城の筑前界は此の二三年非常に活氣を呈してくると同時にその間又種々の問題も生じたが結局それが刺戟となり昂奮劑となつて斯界は著しく進捗發達を來したのであつた就中橘流を汲む旭會一派の活動は目覺しいものであつた、その内でも京城の琵琶界の牛耳を執つてゐる女流琵琶名手の東原旭扇女史の旭扇會、青年間に受のいゝ坂井旭翠氏の旭翠會では御大將自ら出馬して二十五、二十六、二十七の三日間家庭博で演奏する、その曲目は左の通り成るべく一般的のものを選んであるから斯道研究者は素より其他の方も是非御來聽を希たい

▲旭扇會(廿五日晩)▲[illegible](水波扇櫻)▲大高源吾(東原旭扇)▲旭翠會(廿六日晩)▲扇的(玉屋水鳥)▲項羽(高木旭旬)▲[illegible](坂井旭水)▲乃木大將(坂井旭翠)▲旭扇會(廿七日晩)▲湖水渡(宮谷旭賢)▲[illegible](坂井旭木)中山安兵衛(東原旭扇)

奇拔!斬新

―廿六日夜の家庭博大餘興―

名刺の交換競爭 妓生卅人の出場

二十六日の晩には廣橋妓生組合の素敵に美しいところを抜いた妓生三十人が家庭博へ現はれて最も斬新にして然かも奇拔な名刺交換競爭といふ飛び切り面白い懸賞餘興があります、その競技の方法は三十人の妓生が各自分の名刺と手帳を持つてゐて合圖と共に入場者に名刺を差出してその報酬に手帳に名前を記して貰ふ、そして一番多く客の名の記された妓生が一等でそれから五等までが優賞者である、入場者の方は早く三十人の妓生の名刺を取つて終つた人が一等で矢張り五等まである、優勝者は妓生の方は一等には金五圓二等には金三圓、三等には金二圓を與へ四等五等にはしらぎ煙草を贈り入場者の一等から五等までには煙草「しらぎ」三箱以下の賞品を差上げるのであります、餘程面白い競技であらうと思ひます

朝鮮に於ける命令航路

朝鮮郵船の發展

▲會社の創立 舊韓國時代に在りては海運の狀態頗る幼稚にして僅かに帆船に依りて近距離を運航し僅かに一會社二個人の手に依つて命令航路を營みしも其運航の區域極めて狹少にして發著及び運賃の不統一なる等交通貿易上の不利不便實に名狀すべからざるものありしが其後日韓一家となり百政の振興と共に海運の事業も亦大に奨勵せられ明治四十五年四月に至り總督府の補助を得て茲に朝鮮郵船株式會社なるものの創設せられたり

▲航路の整備 同社は創業と共に西は鎮南浦より東は雄基に至る殆んど朝鮮全沿岸の各港各島嶼百有餘箇所に荷客取扱店を設け汽船三十餘艘を配して二十有餘の沿岸航路並に下關延長線を營み比年航路、使用船舶其他諸般の運輸狀態を改善し一面帝國鐵道院、朝鮮鐵道局、日本郵船、大阪商船等と連帶輸送の便を開き益々沿岸航路の完備を期すると共に朝鮮を基點とする海外航路として浦鹽及び北清航路に先鞭を著け更に進んでは浦潮航路を長崎迄延長したり

▲前後の急變 如斯にして朝鮮沿岸運輸の狀態は當時の面目を一新したり即ち之れを既往の成績に徴するに會社創業前一會社二個人の經營せる時代にありては航路數八に對し八隻合計噸數一千六百五十噸の使用船を用ひ一箇年間五百五十九回延長浬數十七萬千百七十一浬の航海を爲して三萬三千七百五十五個の貨物と三萬九千四十五人の乘客を運搬したるに過ぎざりしが朝郵會社創業の當初に於ては一躍して航路を二十三に增大し之れに三十三乃至四十艘噸數に於て七千二百五十乃至七千九百六十五噸の船舶を使用し航海回數二千九百四十一回延長浬數六十五萬五千六十七浬の航海を爲し從つて貨物に於て十八萬一千七百二十七個乘客に於て二十二萬三三百七十二人の運搬を爲すに至りたるは長足の進歩と云はざる可らず

▲最近の成績 右は同社の第一期成績なり更に最近の第三期に至り航路數を十九乃至二十四航路と改め三十五乃至三十七隻の即ち噸數に於て八千二百四十四噸乃至一萬六十八噸の船舶を二千九百十八回延長七十四萬四千五百六十二浬の航海をなし二十三萬四百七十八個二十萬九千四百七十六人の貨客を運搬せり尚ほ本年度に入りて第四期上半期の成績を見るに航路數十六使用船三十三艘此噸數一萬一千三百五十七噸航海度數一千三十三回此延長浬數三十七萬九千四十三浬を算し貨物に於て十一萬八千、人員に於て九萬六千人を算したり其の營業の顯著なる斯の如し想ふに朝鮮沿岸航路並に朝鮮を基點とする海外航路は其營業容易ならざるものありと雖も總督府の奨勵に加ふるに時運の進展に伴ひ社業の進捗顯著なるものあるは朝鮮海運界のため至幸と謂ふべし

▲將來の發展 尚ほ近來同社に於ては年々使用船舶を改善し一定の船舶内に船價の償却を期すると共に次第に新造の鋼鐵船を加へ大正二年度に[illegible]丸、昌平丸及び姉妹船穩城丸、鏡城丸を、大正三年度に上記汽船の姉妹船たる京畿丸、全羅丸を新造せり蓋し朝鮮沿岸航路に於て新造の汽船を使用せるは同社を以て嚆矢とす尚今後各地産業の發達と呼應して益々配船を增加し交通の便を計らんとす前途は更に屬望すべきものあり現在の航路及び回數左の如し

航路	航海回數
元山浦鹽斯德線	月三回以上但結氷期間を除く
雄基門司線甲線乙線	月三回以上
釜山鬱陵島線	月四回以上
釜山濟州線	月一回
釜山麗水線	月二十回以上
釜山雄基線	月四回以上
元山雄基線	月一回半以上
元山永興線	月六回以上
木浦羅州線	月十八回以上
木浦濟州島線	月十回以上
木浦多島海線	月四回以上 月四回以上
木浦群山線	月二回以上
仁川木浦線	月二回以上
仁川海州線	月六回以上
仁川鎮南浦線	月二十回以上
仁川鎮南浦線	月四回以上但諸氷期を除く
仁川芝罘線	月三回以上

本據 **ちどり銘仙** 京城本町二 ちとぶや 電話八九〇番 振替三〇二番

新荷着

●連絡船上陸客 廿三日午後釜山入港弘濟丸二二等客左の如し
(一等八名)[illegible]森忠一郎、來國人七名(二等十四名)富永文子、内野久雄、久永重男、刀禰新三郎、古田榮三郎、矢口玉五郎、小松勝左衛門(三等四十七名)

◎家庭博寄贈品

清酒一鶴(五十本)	本莊酒店
同 富の壽(五十本)	富安支店
同 金露(五十本)	大塚支店
同 白鶴(五十本)	田中支店
同 久娘(五十本)	前田酒店
同 富百合(五十本)	三巴商會
同 宗正(五十本)	合正宗支店
同 清力(五十本)	清力支店
下駄五十足	千代本店
入浴券キヤラメル四十個 家庭博内	中藤製薬所
首振人形五十個	安村玩具店
洒木綿五十尺	木盛商店
上等手拭五掛	小町まつや
手拭四反	播林雜貨店
状袋二千五百枚	高本商店
人形向ミルク十打	場木朝鮮商店
汁粉二十	東內京城堂
洗粉券百枚	龍山料米所
洗濯六百袋(一升入)	

演藝案内

詩座 壽町 電話五七八 鮮明優雅、嶄新奇抜大活動寫眞 [illegible] ▲新派「人の爲」上中下 ▲新派「松平騷動」上中下 ▲泰西探偵劇「闇黒城」上、中、下 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番 [illegible]

佐久良座 龍山 大橋卓太郎一行 [illegible] 新派家庭教育劇 十月廿五日替り藝題 大阪朝日新聞連載 [illegible]

御成座 御成町 電話二九一 (一)四十二回 苦學生 (二)[illegible] 全八場 全二場 [illegible]

大正館 壽町 電話八七三番 [illegible]

有樂館 本町 電話二六六 [illegible] 新築落成 [illegible] 太郎一座 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 ●おなじみの甲斐丸來る 廿六日より毎夜六時開演仕候 初日藝題 ▲義烈百傑 ▲赤穗快擧錄(長講) ●徳川天一坊(三席) ●原多助 右三席は虎丸十八番中の十八番 岡田千代平 虎丸

祝 共進會紀念即賣會 正札附陳列 書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒 貴顯紳士諸彥の御土産に適當品澤山 本町二裏通(電話七八四番) 京城競賣株式會社 自午前八時至午後六時 進 縱覽無料 會 共

第十二版 ■蘇峰學人著 **生活と處世** 定價金十五錢 郵税二錢
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、吾人に臨して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあらば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。

■蘇峰學人著 **齊家處世の要道 趣味修養の經典** 定價金十五錢

第五版 ■蘇峰學人著 **處世小訓** 定價金十五錢 郵税二錢
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力説したる處世實學の良範也。

第十三版 ■蘇峰學人著 **家庭小訓** 定價金十五錢 郵税二錢
子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版 ■蘇峰學人著 **文學漫筆** 定價金十五錢 郵税二錢
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は政治に關する事あり。或は教育に關するものあり、或は人生の問題に及ぶものあり。而して孰れも其の論著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版 ■蘇峰學人著 **文學斷片** 定價金二十錢 郵税四錢
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり。斷片と稱すれども、篇々悉く是れ精金美玉たり。

第六版 ■蘇峰學人著 **漫興雜記** 定價金十五錢 郵税二錢
昔は詩人謠うて曰く『詩多漫興無佳句』と。然れども人の肺腑に徹する天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを現麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話六六〇番 ▲郵送料本社負擔▲

賞牌受領の出品者記念寫眞は特に大割引にて御需めに應ず撮影迅速丁寧種々の便宜 共進會内 東照宮告下 龍山 エム寫眞館出張所 追て共進會褒狀受領の首親として會場内に限り四割引にて御用命に應じ候

演藝館の大福引

演藝館の成功を祝し十月廿二日より廿八日迄毎日晝間入場の方(徽章及優待券除く)に對し福引券一枚を呈し即時現品と引換へます 一等白米、簞笥、火鉢、座蒲團、机、其他以下五十等迄等外共一本も空籤なし 京城協賛會演藝館

金牌受領 上酒壹升に付四拾錢 御得意は特に割引可致候 清酒美林燒酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 電話百七十七番 中井酒造塲

●放賣 土地建物 田畓鑛山 大募集 申込無料 ▼賣買多數成立 京城太平通二丁目七十八番地 多田不動産信託所 電話二二一番

無双醇良清酒 衛生無害 品質無双 登録商標 首藤合名會社吟醸 精白米卸小賣 キリンビール サツポロビール 醤油醤油甲萬 各種 三矢布引サイダーシトロン各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

京城旭町三丁目(元十全病院跡) 小兒科内科專門 若槻醫院 ドクトルメヂチーネ 若槻寛監 電話二四六二番

元山府仲町 露西亞物産雜貨一式 歐米洋酒食料品 北鮮産石器類 西澤商店 電話四六四 振替京城二七四九

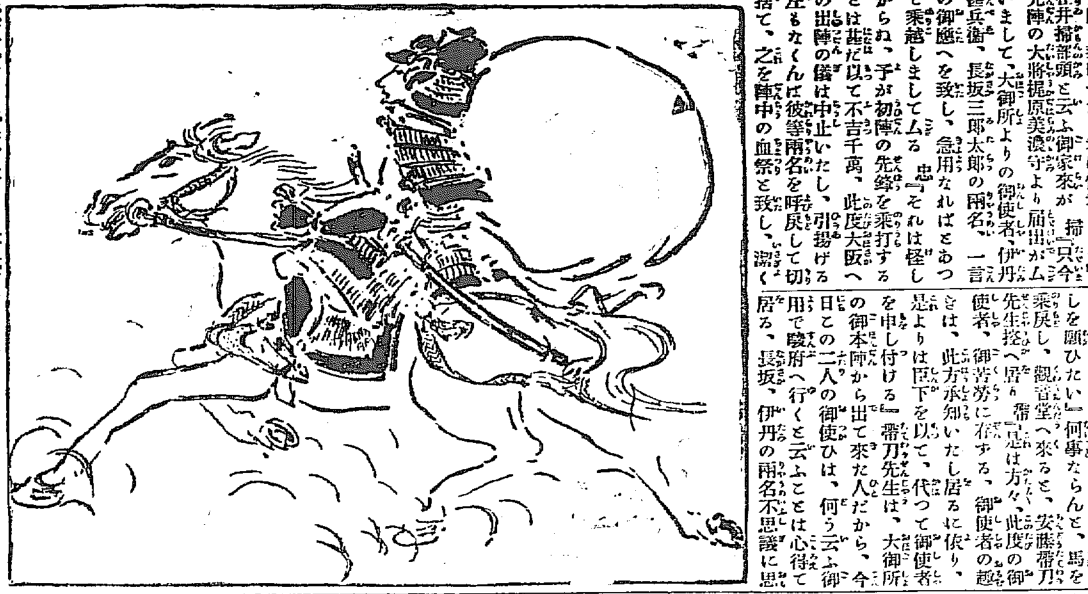
酒精アルコール 直輸入元 仁川花町(電話六五〇番)電略(サ)振替口座京城五八二番 坂倉伊平商店 京城吉野町一丁目(電話二四四一番) 坂倉伊平支店

越後大評定

第二十三席　早川貞水口演

忠直の無法

然るに忠直公、いま御使番が先陣を乘切つたのを御覧遊ばし 忠『今我が先陣を乘切つたる者は何者なるか』在井掃部頭と云ふ御家來が 掃『只今先陣の大將梶原美濃守より届出がムいまして、大御所よりの御使者、伊丹甚兵衛、長坂三郎太郎の兩名、一言の御應へを致し、急用なればとあつて乘越しましてムる』忠『それは怪しからぬ、予が初陣の先鋒を乘打するとは甚だ以て不吉千萬、此度大阪への出陣の儀は中止いたし、引揚げる左もなくんば彼等兩名を呼戻して切捨て、之を陣中の血祭と致し、潔く



出陣に及ぶ』此時老臣より 老『其儀は御止まりあつて然るべし、他人と異ひ、大御所よりの御使者、之を斬つて軍神の血祭と云ふことはムらぬ、敵を斬りましてこそ軍神の血祭その儀は御見合せを願ひ奉る』忠『イヤ其者を捕へて、首打たぬとあれば、予は是より越前福井へ引返す』言ひ出したら後へは退かぬ剛毅な御氣象、忠直公何と御諫め申しても動かぬ、仕方がないに依つて後軍は松原へ止る、其まゝ進まない、所へ安藤帶刀先生直次、越前家の御軍勢御迎ひのため、途中まで出張りましたが今越前家の武者押がピタと停つて動かぬ、家來を出して仔細を訊くと、是々斯樣でムると云ふ 帶『ハアとんだ事が出來た、ソレッ、伊丹、長坂を呼戻せ』茲に伊丹、長坂の兩名を早馬で追掛け、呼止めること故、二人は馬頭を還し、何事で御坐る ○掃『是者は安藤直次家來、主人より御貴殿方へ急御用、帆柱山觀音堂まで引返しを願ひたい』何事ならんと、馬を乘戻し、觀音堂へ來ると、安藤帶刀先生控へ居り 帶『是は方々、此度の御使者、御苦勞に存ずる、御使者の趣きは、此方承知いたし居るに依り、是よりは臣下を以て、代つて御使者を申し付ける』帶刀先生は、大御所の御本陣から出て來た人だから、今日この二人の御使ひは、何う云ふ御用で駿府へ行くと云ふことは心得て居る、長坂、伊丹の兩名不思議に思ひ 兩『安藤氏、何事なれば吾々の此使番御止め下さるか』帶『サア、各位方は德川家御旗下にして、誠忠の御方々、いま直次の申すこと、宜く御聽き分け下し置かれたし』甚『何事でムる』帶『戰場で死するも、今この所にて死するも、忠は一にして、是みな我主君へ對しての御奉公なり、誠に御氣の毒であるが、御兩名此處で切腹いたし、其首を帶刀直次頂戴仕りたい』甚『イヤ是は以ての他なる御用命でムる、次第に依れば此首上げぬこともムらぬが、して如何なる仔細でムるか』帶『先刻各位は、越前家の先陣を乘打をなされた』甚『勿論の儀でムる』帶『サア其儀に就いて……』甚『大御所よりの御使番を被つた急の御用、吾々兩名共まゝ乘打いたしても仔細はムらぬが、此程よりの噂に承はる、越前家には疾に御出陣あつて然るべき所、漸く今日御出陣、何か御容子が變つて居る故、萬一の事あつては相成らぬと、若々急の御用なれど、能々馬足を停め、先陣の梶原美濃守まで届出で、承諾を得て乘切つた次第、然るに今切腹いたしくれと仰せらるゝは』帶『イヤそれを何でも越前家には、各位の首を斬り血祭に掛けるとの仰せ』甚『是は又御無體なること』

●御大禮用土器

（軍大將大島久直氏の甥）以下五名奉仕することゝなり專ら謹製中なりし
る赤目の粘土にて其分量は約二千五百
るが仕上品は全く神代型のものにて
獻し萬歳を抑立て、賑々しく上
中のところ完成せしを以て取敢ず東
法主の高座燒香に大谷各宗派管長總
桐樹の三十一函に收めたる物にて表紙は無地の茶褐色の絹羽二重を用ひ
め難波したるは既報の通りなるが其後の狀況を聞くに難波せしは十九日

泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
專問 入院 隨意 診療 夜九時迄
永樂町二丁目金光教會隣り
安部醫院 電話四一九番

十月二十六日九星 舊九月十八日 庚寅 本命七赤 西 定 友引

▲七赤● 纏りつき主義の事有日 新事見合南方は吉 晴朗西北 ▲八白● 有爲の日 轉居旅行入門名弘舍件棟上婚禮出產主人取な爲す等 萬吉 ▲九紫● ふこ須らるゝ事有日 新事手控え事は吉 賞物に用心せらるべし ▲一白● 愉快の日 轉居入學等皆吉 女子の獨立業を營むに好也 待人來る ▲二黑● 利巧なる日 轉居旅行入學名弘 出獵求職 築造婚禮金談 業等 萬吉物に勝の日 ▲三碧● 勘定におわぬ事有日 新事手控え事は吉 紹介請印等せぬがよし ▲四綠● 利害半分の日なれども新事控目の方吉 移轉 關係は妨なし ▲五黄● 結果よき日 轉居入門 金件 求職 棟上 名出嫁事取 鑛山業等 皆吉 ▲六白● 勇務の日 轉居開業入門名弘 求職 金件婚禮生誕等 始る導 萬吉

▲無料案内▼
紀念帖像約者及其家族方は旅館名所案内等總て無料周旋照會次第規定書進呈
京都丸太町大宮東入 櫻橋協會

▼月やく
月やくさまり他の藥を用ひ効なく御心配の方東京で一番信用ある私方へ三錢切手添申込あれ害なく不思議にトヾる妙藥を知らせす
東京市四谷信濃町停留場前 森田屋

梅毒 患者の曙光
世の中に、梅毒ほど恐ろしき病はなく又梅毒ほど全治の見込ある病はなし、而も今日梅毒に苦しむ人多きは、舊時代の療法に因循しつゝあるが故也、進歩せる醫藥界の新權威を知らんと欲せば一日も早く當研究所の誇りとする
新式 自宅療法
を用ひよ、身體に障なき專門内服劑の特効に依り、患者の體中に一大消毒が行はれて、血も肉も清潔になり、梅毒菌は、新陳代謝の生理作用に伸び、自然に體外に排去さる、梅毒菌の全滅は即ち梅毒の全治なり、從來あらゆる療法に失望せる、骨瘍みの患者さへも本療法に依り、始めて安全に根切りの日を指折り數へて期し得べし。
□平凡なる賣藥類と同視する勿れ
無代説明 ハガキにて申込め詳細なる説明書無代郵送す
東京本所向島小梅町三〇四（電本所七〇番）
東京藥化學研究所

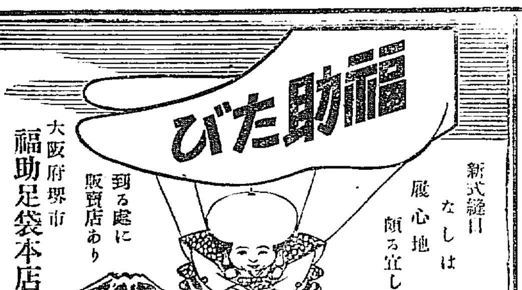
貴婦人、令孃、紳士方御賞用
ホーカー液
垢ヌケのした美人となる家庭唯一の化粧料
本品は畏くも宮内省御買上の光榮を辱す
ホーカー液の効
▼色を白くし、キメを細かにし
▼アレを防ぎ艶をよくし
▼白粉下、白粉のトキ水に一層よく生來の色白くなる
▼子供衆の肌を丈夫にし
▼男子方の剃刀後、朝夕洗面後によく
▼四季の日ヤケ、白粉ヤケを防ぎ
▼香よく香水代用となし
▼常に缺さず用ひらるれば何時も美しく若々しき美顏となる
▼其他種々の効果あり、本品が如何に美容衛生上有効なるかは紳士、淑女間の湧くが如き高評賓行によりて證明せらる
名譽金牌於衛生博
定價小瓶廿錢、中瓶四十錢、大瓶八十錢
内外到る處の小間物、化粧品店、藥店に販賣す
僞品を賣る不正商人あり御注意品切の節は此の新聞名を記し、御注文の方へは送料無料郵便切手代用差支へなし
本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

内地製雨戸卸賣
大勉强多少に不拘御注文願上候
大阪市北區上福島二丁目
建具卸商 遠藤支店
電話土佐堀二四五〇番 振替大阪二一九九四番

新案登録 無代價の炭火吸入器
燃料が安き故五十回使用せば本器は無代になります
定價壹圓金貳圓八拾錢 送料朝鮮四拾錢
宇都宮商店

●急告
梅毒専門藥唯一丸
梅毒より來る病毒は毒菌を治す… 病毒より來る病毒は毒菌を治す…
現今梅毒藥其他の劇作……
唯一丸
梅毒養生法 無代進呈 送料四錢
●全國有名藥店にて販賣せり
發賣元 中西藥局

福助たび



安産の基
淺田宗伯先生遺方 村井弦齋先生推薦
つわり湯
妊婦つわりの妙藥
藥價壹圓 送料六錢
全國に藥店あり
東京市芝區南佐久間町 無量壽藥園 振替東京〇〇二八

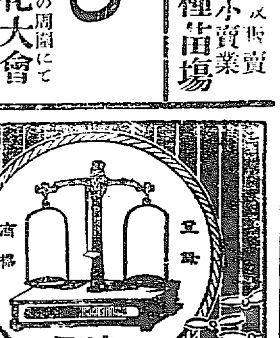
果樹苗木 觀賞植物 内外花卉 養成販賣 卸小賣業
目錄定價表進呈
兵庫縣川邊郡 山本村 百花園種苗場

共進會の賑ひ
二十四日 の日曜日は午前九時より午後五時迄示門内大貯水池の周圍にて 全鮮自轉車大競走會あり 菊花大會は同日より慶會樓階下に於て開催秋晴一日の好遊に適す 當日は特に觀覽券一枚にて共進會の入場御隨意
二十五日 は午前十時より藝妓、妓生數百名の共進會總見物あり百花一時に妍を競ふ、又午後一時半より新舊俳優七十名大假裝行列を催し處々にて演藝を演す抱腹絶倒奇想天外より落つるものあらむ
京城協贊會

女の世界増刊 戀物語
十月十五日發行 ●定價四十錢 送料三錢
●戀愛と性慾との關係……羽太ドクトル ●女同志と男同志との戀……澤田順次郎
△溺死の日の戀……下山京子
●モルガンお雪戀物語●戀の一生……尾島菊子 ●戀の奇術師天勝の半生……●明烏……（落語）
△戀こいふもの……岡田八千代
●戀ふみ見本……小野賢一郎 ●戀に破れた女子大學生の自白
△遊戲戀愛……青柳有美
●戀愛問答女郎訪問記●天才の戀●戀の障害物競爭……歐洲皇族の戀
△平安朝戀物語……與謝野晶子
●神代の戀愛史……木村鷹太郎●工學士の戀●戀愛と犯罪……今村力三郎●人妻（歌）
△女難太平記……關根默庵
●戀愛對話……山田邦子●新らしい女の戀●帝劇戀の二女優●私の戀……春日屋鶴助
戀をはなれて人生なし
戀とは何ぞ！果して危險か？……野依秀一
實業之世界社々長
●私の初戀物語 川村俊子外四氏●失戀の山縣公●口説かるゝの記……村田癸子●名士の戀手紙
△お夏清十郎（新講談）……村山桃源
●素の戀と商賣女の戀……花月女將●蛮花の戀●ソクラテスの戀愛觀……齊木仙醉●駒子の戀
△平氏こ源氏の戀……永代美知代
●旅先で戀せられた上山浦路 孤月●藝者の戀●知事夫人の戀 孤堂●鹿島清兵衛戀の思出
△戀愛の進化……堺利彦
●動物の生殖生活……黒川學士●昆虫の生殖生活……矢野學士●植物の生殖生活……牧野學士●戀夫婦番附
△戀に泥された女……長谷川時雨
●神道の戀愛觀 上岡彦夫●佛教の戀愛觀 米峰●儒教の戀愛觀 香峰●キリスト教戀愛觀 山室
△ホレる心理……安成貞雄
●モルモン教の戀愛觀……ステニブソン●マホメットの戀愛觀……青柳有美●西鄉南洲と豚姬お富●陸奥伯と遊女瀨川
東京市麴町有樂町 振替東京三四三三 實業之世界社 發行

於物産共進會 銀牌受領
MELRI ═ 女里 ═ SOAP
MADE BY ═ 女里 ═ KAMo TENYuwDo
ビューア 女里 石鹼製造元
平壤南門通一丁目
加茂天佑堂
電話一二番

稟告
ハカリ印のヘブリン丸が、かぜ、ねつ、りうまちすに卓拔なる効能ある事は滿天下の實驗せらるゝ所に候
從來社長の姓に因み大阪田口のヘブリン丸こ稱せしを今回商標其儘ハカリ印のヘブリン丸こ改稱致候
ハカリの正しきが如くハカリ印のヘブリン丸の藥味、藥効の正しき事を茲に改めて御吹聽申上候也
大阪北濱一丁目
ヘブリン丸 六神丸 日樂 本舖 合資會社 參天堂藥房
電話本局長 一二〇〇 四番 五番



京城日報

年中無休刊

（第二千九百二十二號）

朝鮮統治の成績

第九　教育と宗教

蘇峯生

教育に至りては、未だ其の成績の大いに見る可きものなし。是れ十年の計は、樹を植るにあり、百年の計は、人を教ふるにあり、而して僅々五箇年の短日子を以て、能く其の効果の收む可き理由なければ也。但だ其の方針及び施設に就ては、聊か一顧に値ひす可きものあるが如し。

或る意味に於ては朝鮮は、寧ろ學問に中毒したり。宋儒性命の學は、高麗の中葉より李朝の末期に至る迄、甚だ流行したり。而して其結果として、空論に勇にして、實行に怯。黨爭に熱して、公事に冷。僞善、虚飾を是れ尚めて、眞率、質朴に乏しく。一言すれば朝鮮人の品性、資質を全く壞了し去れり。寺内總督が、夙に教育の制度を定むるに際して、其心を致したるは、專ら此の弊風を洗除し。朝鮮人をして能く勤め、能く行ひ、自彊不息の國民たらしむるにありし也。『諸生動すれば勞を厭ひ、逸に就き、徒に空理を談して、放漫に流れ、終に無爲徒食の遊民たる者往々にして是れあり。自今宜しく其の弊を矯め、華を去り實に就き、懶惰の陋習を一洗して、勤儉の美風を涵養するを努む可し』とは、寺内總督が、併合當時に於ける教育に關する諭告の一節にあらずや。大儒退溪先生を起すも、現時教育の要點は、決して此を易へざる也。

何事にも愼重なる寺内伯は、教育制度の新設には、最も細心なる注意を拂へり。其の朝鮮教育令は、實に明治四十四年八月に發布し、十一月より之を施行したり。而して其の教育たる之を普通教育、實業教育、專門教育の三者に區分し。專ら浮華輕佻の風を去りて、質實重厚の習を來たし。教育上よりして新たなる天皇陛下の忠良なる臣民を打出せんと企てたり。今や實に此の方針に向て着々進歩しつゝある也。

教育の問題に於て、關心す可きは私立學校也。私立學校は、動もすれば處士横議の苗圃にして、危險思想の温室たる虞なしとせず。而して併合の當初其數實に二千二百餘校、其中にて直接、間接宣教師の手に屬するもの實に八百餘校を數ふ。今や其數漸く減じたるも、尚ほ一千三百餘校あり、而して宣教師の管理に係るもの、約五百校に上る。其の教育の成績如何は、大いに朝鮮將來の統治上に影響なしと云ふ可らず。寺内總督が、此の方面に向て、統一の手を伸したるも、決して餘計なる干渉にあらず。天皇陛下の忠良なる臣民を、養成するの第一義に於て、洵に已むを得ざるものあれば也。而して其の本年四月私立學校規則を改正し、原則として、普通教育、實業教育、專門教育を爲す私立學校の教科課程は、當該教育を施す學校の規則に準して定む可く。而して其の以外の課程を加ふるを許さゞることゝなしたれば、此に於て、教育と宗教とは、全然分離するとなれり。固より現在の認可を得たる學校には、向後十箇年間の猶豫を與へたれども、其の分離の精神は、此の一令にて、愈々明白となれり。此の如くして教育は、宗教の手を離れて、全く國家的となれり、國民的となれり。然も此が爲めに何等信教の自由を妨げらるゝの掛念はあらざる也。宣教師が宣教を做すは勝手也、但教育の名によりて、宣教し、若くは併合の大主義、大精神と相ひ容れざる教育を施すを容さざるのみ。蓋し此の一事は、小なるに似たるも、實は大雄斷と云ふも、溢言にあらざる也。其の効果の如何は、現時にあらずして、他時にあり。吾人は敢て百年の後に於て、必らず寺内總督の、今日に於ける此の一大雄斷を感謝するの日來る可きを豫言せんとする也。

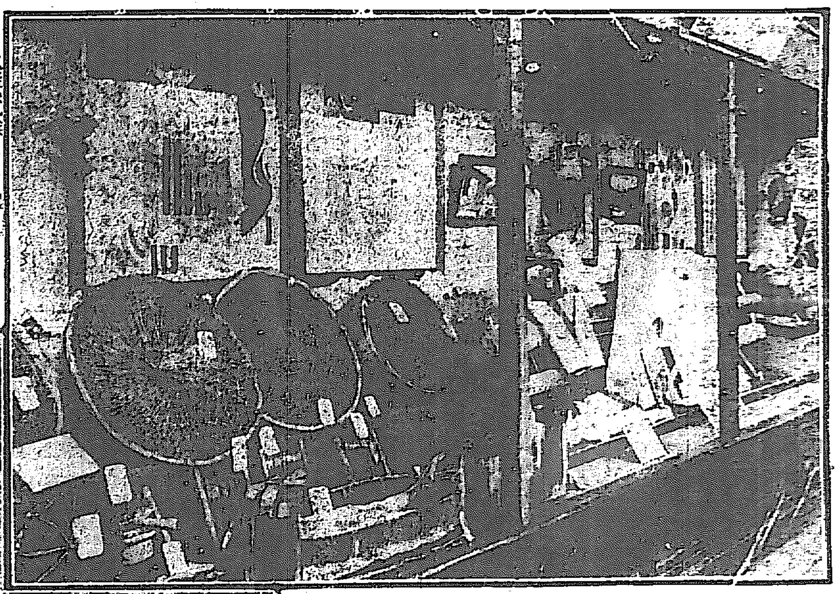
大共進會　出品概觀

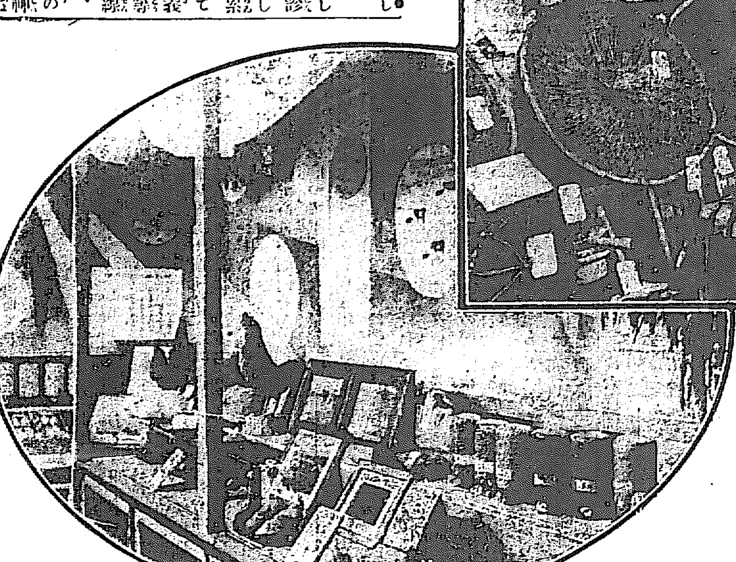
二號舘（慈惠救濟）（續）

第十一部慈惠救濟は土木交通部に隣りて中央通路の左側にあり十四坪の地積を總督府醫院、道慈惠醫院、濟生院並に民間の經營に係る救濟事業の四區に分ち八百四十四點を出陳す、而して總督府醫院及び道慈惠醫院の出品は始政五年間に於ける診療事業成績の進歩發達の狀況を示し併せて鮮內の地方病、流行病、其他鮮人の風俗習慣より招來せらるゝ危險及び疾患等に就き一般の注意を喚起し警戒を促すを以て目的となせり

總督府醫院は先づ總括的出品として醫院全景、各種病室、治療室、診療及び手術等の光景を寫眞に現はし普通施療患者、外來、入院患者の累年診療成績を表示せり、外科に於ては手術成績の寫眞、標本、義手、義足『コルセット』等の實物、其圖表等を示し、また多數のエッキス放射線寫眞を掲げ放射線管を陳列したり、內科に於ては圖譜に依りて傳染病の傳染經路及び主要の病原菌を示し朝鮮の傳染病患者の統計を表示して內臟分布圖、各種心臟疾患の脈波圖及寄生蟲の標本、其蟲卵の寫眞、肺ヂストマ病其他數種の疾患の病變を示し、二三の診斷器械及び電氣按摩器等を陳列す、産婦人科に於ては數種の助産器械及び産科教授用と共に數種の手術成績標本を陳列して花柳病と姙娠、分娩及び流産率との關係を比較表示したり

又た耳鼻咽喉科に於ては細菌器及び一二の治療器械、標本等を陳列し鮮人長煙管使用の弊害を圖表せり、皮膚病梅毒科に在りては皮膚疾患の模型と共に寫眞を陳列し、模型を以て黴毒の新療法及びラヂウム療法の恩惠を示し且つ數種の皮膚寄生蟲模型、診療器具を陳列したり、小兒科に於ては人乳、牛乳等の分析を表示し、乳稀釋法を掲げて人工營養に必要なる器具、材料等を陳列し又營養と疾患との性狀關係を示し、授乳法及び搾乳器の使用法を指示せる外[illegible]使用の育兒器を出陳せり、齒科に於ては齒牙口腔の疾病及び衛生に關する各種の標本、模型の寫眞、圖表並に多數の義齒、充塡齒牙及び治療器具を並べ▲藥劑課にては動、植、鑛の三界より得たる藥品及び最近の發明に係る治療藥品及び調劑藥の主なるものを陳列し併せて二三の製藥及び檢査器械を出品したり▲眼科に於ては各種眼疾患の眼底病變圖譜を掲げ、義眼、眼鏡の各種、二三の診療及び治療新器械を出陳す





（上）水產工業（下）農產　―共進會第二號舘―

袁總統と支那皇帝（上）

小松翰長談

袁世凱の皇帝說は今や愈々具體的の問題となつて實現の期は刻々に迫つて來る、之れに就き小松翰長の所談は即ち左の通りである

支那が共和國となりたる當時予は私に支那の爲めに喜ばんよりは寧ろ悲めり、そは米國邊りに留學し居たる支那の靑年等が單に外觀の美なるに眩惑して共和政治は何れの國に於ても行ひ得らる可しと速斷したる結果彼の革命を惹起して共和政治論を開きたるものならむが凡そ政體は必ず特種の國體に伴はざる可からざるは政治學研究者の容易に了解する處なり元來共和政治なるものは近世に始まりたるものにあらずして古代に於て既に行はれたる政體なれば

▲其美點も缺點も共によく

實驗せられ居れり、古代のことは措いて論せず近代に於て共和政治の最も成功せるは北米合衆國にして佛國はルイ十六世の後に共和政體となりしがナポレオンの時に至りて帝政に復し、三世に及びて更に共和政體に復せるは世人の記憶に新なる處にて同國は目下共和政體の試驗中に在りと謂ふも蓋し差支へなかるべし、共和政體が米國に於て成功したるは無人の大陸に移住せる殖民が當初共同生活より漸次發展するに從ひ、英國の羈絆下に立ちしも遂に獨立せる爲め、此の共同生活に復して新に自治制を布くに至れるものにして同國は共和政治以外に選ぶ能はざる特種の事情あり、又た同國當時の總て共同生活なりし同國の事情は共和政治をして今日の成功を爲せる所以なる可く

▲更に之を助成せし主なる他の原因は、立君民主ともいふ可き英國人が共和政治を行ふに極めて適應したる政治思想を有し居たるが爲にして、之れ等が相俟り相助けて以て北米合衆國に於ける共和政治を成功せしめたるものなるも、其他の國に於ては遺憾なく共和政治を仕上げたるもの殆んど絶無なり、例へば中部並に南部阿米利加には無數の共和國あるも一國として憲法の規定に依り大統領の公選を繼續し來れるものなく、悉く武力を以て其位置を爭へるものにして終始戰國の狀態を免るゝ能はず、墨西哥が三十有餘年間無事に共和政治を繼續したるは大統領デアス氏が常に武力を擁して其位置を維持したる爲めにて一回だも干戈を用ゆることなかりしとはいへ其年老い力衰ふるに及びては幾多の群雄各地に與りて其位置を爭ひたるよりデアス氏は遂に國外に放逐せられ同國は今日に至るまで尚ほ混沌たる亂國の狀態に在り、其他推して知る可きなるが斯の如きは畢竟北米合衆國とは其趣きを異にし多くは羅甸人種の常に王政下にたちたる國民が中部及び南部米國に於て共和政治を創始したるが爲めにして共和政治が其人民の思想と相容れざるに依る

日報俳壇

蛙子郎選

秋風

痛み抜きに降る蟲齋や秋の風　潮外星
秋風や焚かぬ竈に眠る猫　同
刈らである燈心草や秋の風　同
秋風や老いし樵夫が磨ぐ手斧　同
貼り直ぐ子の破障子秋の風　同
傳渡し錢とらぬ橋や秋の風　同
秋風や西日明りに座す讀書　北星
聾母と知りてら僻む秋の風　同
里の母をたのむ産婦や秋の風　同
建てし家寶る日かな秋の風　浦南
頑健を誇りし日に病む秋の風　韮城

花野

熔岩の昔降りたる花野かな　韮坡
無線隊に經讀で行く花野哉　泉園

子規忌

今年寺に居て心足る子規忌哉　吐人
落語聞いて泣く人あり獺祭忌　雨村
俳風の幾變遷や糸瓜の忌　邱辭
糸瓜佛を來迎するにホ句もなし　獨笑
病む友を纏る淋しや獺祭忌　浦子
燭を撫して句に親しむ糸瓜の忌　康知

於大共進會
銀牌受領

湖南線論山
朝鮮酒造株式會社

弊社釀造の清酒は今回大共進會に於て銀牌受領の光榮を得申候今後一層品質を吟味し廉價を以て賣出候に付多少に拘らず御用命奉願候

銘酒　朝の鶴
發賣元　京城本町三丁目　か酒店　電話一〇五番

第十三
歐洲大戰寫眞畫報
歐洲戰場の光景を紡彿せしむる最近寫眞を滿載し明快の讀物と共に戰況を活寫して遺憾なし！
歐洲戰爭實記增刊（十月十五日發行）
定價廿五錢（郵稅）
東京本町　博文館

芳賀剛太郎著
漢和大辭書
縮刷 漢和大辭書
忽ち五版
大著は發行後未だ幾くもならざるに滿天下の好評を博し其の需要の絶大無限なる出版界未曾有の盛觀を呈しつゝあり本社は大方の厚意に酬ゐんがために此際特價を發賣繼續す
▲東京朝日新聞　曰く最新に成就して最正確なるは本書也漢和字典類書中の魁として天下に推奬す
▲國民新聞　曰く出典正確解釋穩當排列斬新にして其比を見ず本邦辭書界の覇たるのみならず出版界稀有の好著なり
▲東京日日新聞　曰く近時漢和辭書の刊行せらるゝもの數十種の多きに及ぶも本書の如きは實に完璧と稱すべきもの一大見著なり
▲讀賣新聞　曰く熟語數古字、本字、俗字、省字等いづれも親切なる上に著者が十餘年の努力遂にこの大著を成せるは學界の一發事
▲萬朝報　曰く古字本字俗字の外に字原何れも詳しく、故事熟語成句まで悉く網羅し篆行草も三體を添へたる一特色なり
▲大阪毎日新聞　曰く後世文字を網羅し[illegible]白眉なり殊に特別新鑄せしの假名活字を用ひ四段組とは他に比なし
背皮美本（縱六寸八分 横四寸五分 厚三寸）特價二圓五十錢　部限 二千五百七十頁　定價三圓　送料內地二十錢
クロース製（縱六寸 横三寸 厚二寸）特價一圓五十錢　部限 二千七十頁　內容同一　定價二圓　送料內地二十二錢
東京市日本橋區通町二丁目　發行所　興文社　振替東京一八一四四番

釋宗演禪師著
碧巖錄講話
古來禪門第一書と稱讚されたる碧巖錄の提唱多しと雖も、未だ現代の要求に應じ得るものあるを聞かず。是に宗演老師ありて親切丁寧七縱八横の說をなし、宛も靴を脫して痒きをかくが如く、門外靑年の諸士をして能く之を了解して精神の修養見性の大益を得らるゝこと掌紋を見るより明なり。請ふ先づ是を讀破せよ
上下全二冊　洋布製美本　箱入
定價上卷壹圓五拾錢　郵稅十二錢
發行所　東京神田駿河臺袋町　振替東京二三一三番　光融館

寫眞
寫眞撮影　寫眞銅版・亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成的低廉を旨とし御需めに應ず
京城日報社　寫眞製版部

會員募集
大日本歌道獎勵會
會員は勅題無料添削に應じ申候
申込次第規則進呈
東京麴町平河町

列強大戰

▲希國回答　要求承認の意無し

聯合國の通牒に對する希臘の回答は二十三日到着せり希臘は目下の處聯合國の要求を承認するの意なし因に聯合國の通牒はサープラス島の割讓を提議すると共に希臘が希塞條約の義務を履行せる場合には更らに他の割讓を敢てせんと爲せるものなり（倫敦電報）

▲露新陣地占領

露國公報に曰く露軍はタノポール北方に於て有力なる突擊を行ひ二十二日は敵の陣地の一部を奪ひ二十三日は又北方に於て更に他の陣地を占領せり捕虜五百名其他榴彈砲二門と多數の機關砲を鹵獲せり（倫敦電報）

▲伊軍攻擊奏効

羅馬公報に曰く伊軍はサバトリノに於て海岸迄の前線に亘り大規模の攻擊を開始せるが其結果多數の陣地と多量の軍需品とを獲たり又カルソに於ける敵の戰線は數箇地點に於て突破せられ敵兵の多數は或は殺され或は散亂せしめられたり捕虜百二十名に達す（倫敦電報）

▲食糧全部取締　●獨逸聯邦を通じて●

伯林よりの報道に依れば獨逸聯邦政府は獨逸全國に通じて食糧品全部の取締をなすに至れりと（紐育電報）

●觀兵式擧行

二十日來大演習を御統監あらせられたる大元帥陛下には二十三日南北兩軍の編成を解き二十四日弘前練兵場に於て親しく觀兵式を行はせ給ひたり（東京特電）

◎アームストロング社長逝去

アームストロング會社長サー、アンドリウ、ノーブル氏（八一）は逝去せり氏は我が國の勳一等章所持者なり（倫敦電報）

◎循環鐵道取締豫審決定

循環鐵道不正事件豫審中の處取締役速水太郎は豫審終結し有罪の決定ありたり（大阪特電）

●朝鮮貿易（六）　關稅課長　宮木又七

三、集散狀況（續）

而も亦た最近の注目す可き事項あり、從來開港地の商人は仕入貨物到着すれば先づ一旦之を自己の店舖又は倉庫に藏め地方の註文を俟て之を分配するの狀態なりき、故に地方の需用に對する準備として常に相當の手持品を存せざる可からざるが故に輸移入も成る可く之を大きく纏めて行ひ、從つて倉敷料、金利等の諸掛並に運賃等決して少からず、然るに近來鐵道の普及に依り沿線の顧客に對しては註文を受くると共に內地取引先に打電して鐵道聯帶便に由り直接に是等沿線に送荷せしむるの風漸く增加し小麥粉、砂糖、燐寸、洋糸、綿糸、綿布等運賃の割引あるものに於て特に傾向顯著なるものあり、之れに依りて二重の運賃及び金利、倉敷料を輕減するに至れり。事情斯の如きを以て沿線地方各驛に於ても鐵道の利便に依りて各季節々々に於ける貨物需要の大小緩急に應じ、敏速且つ頻々商品の仕入を爲すことを得るが故に手元に比較的多量の在荷を準備し置くの必要薄らぎたり、從つて小資本を以てするも之を巧に運轉するときは相當の營業を爲すことを得るを以て自然沿線に於ける內地業者を增加したるの傾向あるは喜ぶ可き處なりとす。次に支那より輸入するものは狀況右と異り昨年輸入價格七百七十萬圓の內約其四割は滿洲產にして粟、石炭、食鹽等とし專ら內地商人の取扱なるも輸入の五割以上に該當する北支那中、中部支那より輸入するものは主として絹布、麻布等とし是等は朝鮮在留就中仁川港の支那人の一手に屬し、加之英國產金巾類の如きも支那の取扱尠からず、而して支那商は開港に居るのみならず

▲朝鮮の奧地にも到る處に居住を占め若くは各地に行商し、開港地の全國商人と連絡するを以て商權一に支那商に歸し居り、朝鮮商、內地商の指を染むる能はざるは注目す可き處とす。又輸移出品の開港出廻りに關しては特種のものあり、即ち政府專賣に係る紅蔘の如き、石炭の如き、又民間生產に在りても歐米人の各地に經營せる金鑛の如き其の他內地鑛業家の經營に係る各種鑛產物の如きは各自已に專屬したる輸出方法を有するも農產物其他一般の貨物に至りては朝鮮固有の商取引方法に依るものとす、即ち各地の生產者は上述したる市場に於て自巳の生產品を賣放つを普通の方法とし市場商人は之れを集聚して一定の包裝と爲

◎勤王家贈位

既報の如く天皇陛下には青森地方に於ける勤王家故津輕爲信外八名に對し贈位の御沙汰ありたり其主なる者左の如し（東京特電）

弘前藩第一世藩主　故從四位下　津輕爲信
弘前藩主　故從四位下　津輕寧信
贈從三位（以特旨位階被追陞）

●朝鮮留學生　最近の傾向　逐次堅實の發達を認む

朝鮮留學生監督　荒木捨作氏談

內地の各府縣に散在して居る朝鮮留學生の數は仲々異動が多いが最近の調査では五百五十五名と算せられて居る之れを地方別にすれば東京の四百餘名と云ふが其大部分を占め之れに次ぐは京都の四十餘名其他の各地に在る者は極少數である是等の留學生が笈を負て內地に出て來る時の考と云ふものは頗る單純なものであつて行きがけの旅費さへあれば內地に着いた上は何んなりと衣食の道を求め苦學して行けると云ふ考を抱いて來るものが多く此種の留學生が東京に着いて見ると最初の的が外れて自分も困難し人にも迷惑をかけて居る者も尠くない此點は朝鮮に居る父兄なり先輩の人々がよく〳〵注意をされて輕擧妄動を敢て爲ない樣に指導して貰ひたいと思つて居る

▲地方で就學せよ　元來朝鮮の學生が多額の經費を使つて迄態々內地に留學をせずとも朝鮮に於て充分勉強の出來る樣な機關が備へられて居るのであるからして自分は經濟上から云つても朝鮮學生に內地留學は奬めたくないのである今一つは近來內地に於ける一般學生の風儀が惰弱になつて來て昔の所謂書生氣質の如きものは何に求めても得られず學生にしてセルの袴を著け高價なる洋杖を手にして大道を横行すると云ふ有樣であつて就中東京に於て此弊害の甚だしきを認むるのであるから此樣な誘惑の多い都會の地に朝鮮學生の如き生地な者が出て來れば勢ひ此惡風に感染せざるを得ないのである故に朝鮮留學生にして是非共內地留學を爲たいとあればせめて東京を除きたる他府縣の地を選んで就學して欲しいと思ふ第一東京の如く多數の學生の群集せる土地にあつては學生間の交際も繁劇になり從つて無用の財を散する樣になる譯である

▲議論よりも實用　東京でなくとも福岡仙臺等の如き地方に於いては各階級の學校が存在して修學上何等の不便なきのみか却つて經費等の點に於ても好都合なのであるからして併せて父兄諸君の注意を促したいと思ふ尚ほ一言加へて置きたいことは從來多數を占めて居つた法科又は政治經濟科等の就學志望者が年を逐て減退し農工商等の實業的學科を選擇して入學する樣になつて來たことは朝鮮開發の上から見て誠に慶賀す可き現象と云はねばならぬ全體法律とか政治とか云ふ學問をしたがるのは青年時代の通有性であつて決して排く可きことではないのであるが今日の朝鮮は理屈を云つて安閑として居る可き時勢ではないのであつて宜しく有爲の青年にして相當の資力ある者は朝鮮開發上直ちに實効ある學業を修めて貢獻しなければならないのである

▲卒業生の就職難　朝鮮留學生の現狀は大體以上の如くであるが茲兩三年間に於ては毎年約五十名宛の卒業生を朝鮮に歸したことになつて居る之れを今日迄の成績に徵するに其の大部分は相當の就職口にあり付いた樣であるが如何せん限りある需要に向つて無際限なる供給力を有して居るのであるから近年稍もすれば『就職難』の聲を聞くに至つたのは朝鮮留學生に取つて一大痛棒と云はねばならぬ今日と雖も轉免の補缺又は死亡者の後任等の方面に卒業生の實口を求めつゝあれども之とて爰數年を出でずして需給の差甚しきに至る可きものと見て差支あるまい此點より見るも法政經濟以外の學科即ち商工、農科等を修得したる者にありては比較的就職の道が容易なるのみならず又獨立して其技能を應用することが出來ると思ふ要するに朝鮮留學生最近の趨勢は漸を逐て堅實なる方面に向ひつゝあると云ふことは單り吾々當局者而已ならず局外者と雖も認むる所のものであらうと信ずるのである

●支那朝鮮貿易

十月中旬の大阪港對支那及び朝鮮貿易は移出品價八十九萬千三十一圓移入品價八十六萬三千二百六十圓にて差引出超二萬七千七百七十一圓を示せり又一月以降の移出超過累計四百萬千五百圓にて昨年同期のそれに比し約四十萬圓の減少なり（大阪支局）

●朝鮮の移住漁民

過般渡鮮せし帝大教授岸上鎌吉氏は此程下關に歸來し語つて曰く予は釜山を距る約一里の漁村にある山口縣の移住漁民を視察せるが之が住家は棟續きの長屋建にて第一體裁に於ていかにも慨然の情を抱かざるを得ず予は之に對しては何とか今少し權威ある生活狀態に向上せしめたく思ふ又同附近にある大分縣の東拓移民をも視察せり此は所謂半農半漁なるが住家は何れも一戶一棟の制にして山口縣の移住漁民に比して遙かに向上されたる生活狀態にあり群山に於ける長崎縣の移住漁民をも視察せるが之が生活狀態は頗る優良なり而して北韓に至ると冬期は海上風浪高く爲めに出漁するを得ず爲めに充分の成績を擧げ得ざる向もあり是等には半農半漁は最もよき思ひ付にして右の如き場合は徒らに業を休むを免かるれど又一面より云へば農家と漁業と相衝突し爲めに二兎を逐ふて一兎も得ざる患を見ることもあれば農事に對しては成る可く多くの勞を要せざる農作を選ばざるべからず（門司通信）

●九月絹布移入

九月中仁川港絹布輸移入は十一萬五千五百九十一圓にて前月の八萬七千四百五圓に比し著しく增加せるは追々衣替期を控へつゝあるを以て至當とす可く例年逐次本品の輸移入增加するは地方鮮人購買力の漸次膨脹せしと見る可きなり市場賣行は捗々しからず價格は羽二重期金三八紬二圓八十五錢十三綦本絹七圓二十錢なりき

●仁川九月麻布

仁川九月中麻布輸移入は五千五百十五圓にて前月の三萬六百八十一圓に比し著しく減少せるは本品の需要期は既に九月に止りたるに由る市場賣行は時期經過の事とて言ふに足らず價格は大布（京莊晋昌百反一個物）九十二圓八錢布（濟和）一反二圓十錢なり月末在庫は六百箇見當なりき

◎大成功の理由　京畿道長官　檜垣直右

共進會は開會の始に於て成る可く多數の觀覽者を誘導し其目的を貫徹せんことに勗めたいとは何人と雖も期する所であつた最初は五十日間の會期中の入場者を三十萬を普通とし五十萬人を以て成功と豫想されて居たが僅に一週間を剩すの今日既に七十萬人を超えたるは大々的成功と云はねばならぬ如斯豫想外の大成功を致したる主因は共進會の當局に其人宜しきを得て會場の設備に出品物の選擇に鋭意周到なる注意を拂ひたるに因る可けれども又一面に於ては各道に於て設けられたる協贊會なるものありて出品物の獎勵觀覽者の誘致等に全力を傾注し加ふるに內外多數の新聞雜誌は此間に介在して報道の任を盡されたるに職由するは爭はれざる事實なる可し

▲八十萬の觀覽者　迎て三十一日の閉會式迄には八十萬人に近き入場者を集め得ることゝ信ずるのである是等の人々が共進會と云ふ實物教材に依りて朝鮮人は直覺的に自己の能力程度を覺知し他との優劣を感得したる可く內地人は是に由て朝鮮の現狀を知り就中內地より來鮮せる者にありては實に朝鮮の現況を見聞したるのみならず有望なる朝鮮の將來に就て多大の期待を持したるものと認むるのである此點よりしても亦共進會は大成功なり併しながら共進會の事業は茲に於て全く其目的を達せられたりとは云ふ可らず

▲閉會後の覺悟　共進會には多數の觀覽者を集め又選良の出品物を陳列して是等の人々に紹介して成功なりしと共に一面には此機會に於て巨多數の金錢を消費した爲一般の景氣を活況を呈するに至つた從つて共進會の閉會後と雖も進んで大水の如く頓に前の樣な淋しさを來すが如きことはないと信ずるのであるが此際特に京城府民諸君に勸めて止まざるものは開會中の餘波を受けて何時迄も華美や遊惰に涉らないことであつて此期に於て一層勤儉力行の美風を養ひたいと思ふのである又一般の人々に向つては今回の共進會は將來の朝鮮を更らに一層開拓し進步せしむる一階級段なることを納得し今後益々朝鮮開發の爲に官民一致して之に當りたいと云ふ希望を抱いて居る次第であつて所謂隴を得て蜀を望むと云ふ樣な勢に進みたいものである

人事消息

▲武藤金吾氏（代議士）　二十四日入京朝鮮ホテルへ
▲イー、ダブリユー、フレーザー氏（フレーザー商會主）　同上
▲ブレーク、フオーグル氏（米國商人）　同上
▲岡田榮氏（醫學士）　二十二日南鮮京
▲三矢正莘氏（全州地方法院判事）　二十四日入京山本旅館へ
▲原田等氏（同）　同上
▲外間現篤氏（同檢事）　同上
▲阪上貞信氏（鮮南勸業會社長）　二十四日夕入京浦尾へ
▲藤川勝丸氏（福岡工業學校長）　同上不知火へ
▲大橋洗氏（小倉工業學校長）　同上
▲吉山榮三郎氏（臺灣總督府國語學校教授）　同上　廿四日入京京城ホテルへ
▲矢口玉五郎氏（同工業講習所長）　同上
▲岐阜視察團一行　廿四日夕入京天眞樓へ
▲和歌山市商業視察團一行　廿四日夕釜山へ（向け出發）

◎北濱事件豫審決定

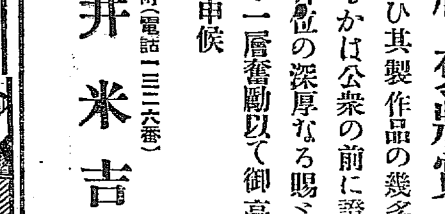
北濱銀行事件豫審終結調書には財界の最大奇怪事あり岩下、永田は背任、横領、文書僞造行使、商法違反、業務横領、小塚は同上及び詐欺、室田は同上及び詐欺、文書僞造行使、中西は業務横領罪として有罪に決定したり、決定書は非常に長く幽靈株主を作りしこと並びに諸帳簿に虛僞の記入を爲したること尙ほ大阪新報を經營して二百萬圓を出し日本醬油會社に於て大穴をあけ礦山の損失を銀行の缺損に繰り込み又炭坑を買ひ鬼怒川水電株を横領し才賀電氣の後始末に費やし日本興業會社の爲めに誤り行金にて箕面に松風閣を建てたる等三十二項に及べり（大阪特電）

●武德館劍術大會　創立三週年記念

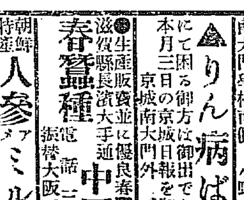
……しく觀客をして手に汗を握らせ好取組の際は拍手の音が綺麗に響めらる……京城中學鐵道局武德會員等の人々で幼年部四十三組外來劍客百五組で……事其他全部出席頗る盛況を呈した因みに午前中優勝の成績者は左記五名でもつて……

▲虎丸又來る　……
▲天勝の面目　……
▲佐久良座　……
……一場の講話あり大に感銘を與へたり

堀井謄寫版



●文書事務の簡潔は益々急なり此秋に方り本器を逸するべからず
販賣元　京城南大門通二丁目　謄寫堂京城出張所　電話四〇二番振替口座京城一〇五八
本店　東京市神田區鍛冶町三番地
特約店　京城　熊平支店　電話六二四番
其他到る處取次販賣店にあり



於大共進會
弊店製作の踏車及石拔唐（箕）は名譽なる銅牌と褒狀賞を受領するの光榮を負ひ其製作品の幾多の群を拔き優秀なるかは公衆の前に證明せられ候は江湖各位の深厚なる賜ご感謝の至りに候自今一層奮勵以て御高志に酬ひん事を期し申候
京城本町二番階町（電話一三二六番）
土井米吉

拾圓進呈　甲種農學校通信教授
御即位記念の爲め今回一千名限り波なく參圓以上拾圓迄記念品進呈詳細はハガキにて申込次第見本校則無代進呈着は急ぎ只今ハガキ投せよ
▲東京市本鄉區新花町　電話下谷五二三九番
大日本通信農學校　校長　中園子爵

好評噴々として湧起す
最新刊　國語百談　（四六判）
國語界のオソリチー　日下部重太郎先生著
定價七十錢　郵送料八錢
日本及日本人　曰く、國語に關する短話を一百集めたり、君が代の國歌の出所の話から、平家物語の話、名數の話など、おまけに方言の研究もあり、國語に關する常識を得るに最も妙にして面白半分に智識を得らるゝやう綴せしは思付なり
萬朝報　曰く、（前略）國語に關する小研究、小感想、笑話などを集めたり著者が如何に國語に對して不斷の注意を拂ひつつあるか察はれて床しく國語に對する理解や趣味や尊敬や此種の書を讀むことによりて却つて最もよく養はるゝものであらう
南條博士　道の話　定價九十錢　送料八錢
櫻井鷗村　リンコーン物語　定價一圓廿錢　送料十二錢
櫻井大尉　肉彈　定價七十錢　送料八錢
東京麴町三丁目　丁未出版社　（振替東京七八四七）　（書目進呈）

日本大學　普通文官養成講義錄　法制學會編纂
（講師）中村法學博士　清水法學博士　副島法學博士　青木法學博士　小林法學博士　山田法學博士　板倉大審院檢事　柳川大審院判事　岩田大審院判事　山岡控訴院檢事
新學期開講　入會金全免其他の特典あり入會の絶好機なり
見本規則無料進呈につき申込次第
▲普通文官となりて立身の基礎を作らんとする人は來れ
▲一日も早く就職して立派に獨立せんと欲する人は來れ
▲少額の會費にて有用の學科を修了せんとする人は來れ
▲活社會に實用せらるゝ資格を早く得んとする人は來れ
▲下級より一躍して高級の官吏とならんとする人は來れ
神田區駿河臺　日本大學法政學會出版部　電話本局三七〇七

京日案內
◎普通　一回前金三十錢（無割引）　毎名一回每に金五錢增
◎店員募集　齢廿歲前後の者二名至急採用す希望者は……名を要す　▲本町一丁目　……商店　800
◎賣地　南大門通宅地坪御望の方は（電話壹〇五番へ）　△黄金町　宮多金光堂　760
◎積保證金簿記計算に熟練の者會社又は信用ある實業商店に雇聘されたし年齡不惑（姓名仁川支局）　764
◎ほねつぎ　うちみ、くじき治療　明治町（四ッ角な東坂上ふもと）　荒川仁壽堂　電話二五九五番　790
◎番外　一回前金六十錢（無割引）　毎名一回每に金五錢增
解雇　井關秀吉　右の者（卅六歲）は今般都合に依り解雇致し候付爾後關係絶無に候　南大門通二丁目　▲ミノ屋自轉車店　801
日本名代　七味とうがらし　元祖　七色屋　京城北米倉町南大門通入口　岡本販賣　796
皮膚病　花柳病　專門　須古醫院　永樂町商品陳列所坂の上　電話二〇三番　566
內科　小兒科　婦人科　產科　今村醫院　本町三丁目總監部通突當　電話一八三一番　766
恩給年金類立替　京城永樂町一丁目四十四番地　商品陳列館前　電話八〇三番　江州屋　709
▲淨水も滯る時は病を生ず　今日快通丸を召しましたか　東京　京城旭町一　淺野樂天堂　628
◎寫眞撮影　龍山夜間撮影　技術優越　調製迅速　龍山漢江通　電話三五九　畠田玉川堂　668
◎古着古道具類一般　右は相當價格を以て誠實に買受候　旭町一ノ廿一　電話一八二一　クヅ谷商店　680
印入タオル製造　進物用最適一打五十錢乃至一圓廿錢　印模樣御好次第　電話一五九〇　南大門學校南側　小野タオル製造所　791
▲りん病ばい毒にて困る御方は御出でなさい詳細は本月三日の京城日報を御一覽あれ　京城南大門外　ドラッグ商會　686
◎生產販賣並に優良春蠶種照會　滋賀縣長濱大手通　春蠶種　中國商會　電話三〇〇　振替大阪二九二七五番　704
朝鮮特產　人參ミルク　衛生滋養豊富　見舞品內地土產品には好適本品は一函入廿五錢　主要の特約店にあり　製造發賣元　櫻井町　博榮堂　734
◎土產品は翡翠に限る　朝鮮名產　朝鮮豆　高麗豆　元祖　目村井商會　明治町二丁目　電話五五一番　取次　櫻井町一丁目　珍菓　新羅豆　電話二三六八番　735
產婦人科　內科　小兒科　京城南大門外蓬萊町鐵道踏切側　今本醫院　電話二八五三番　752
最上醬油　キッコーマン　京城本町四丁目　電話壹壹六五番　岩脇醸造場　755
鍼灸　產後乳もみ　マッサージ　京城明治町二丁目石田肉店橫入　村上　電話三八四　781

[illegible]劍術大會が開催された午前中は同館[illegible]劍士は憲兵隊司令部警務部[illegible]の各警察署憲兵隊監獄稅關軍司令部[illegible]幼年部二十四組の試合があり掛聲勇[illegible]保安課長大橋司令部副官永谷警視安藤[illegible]陽署長等多數で同部役員黒田幹[illegible]觀者は森總督附武官中[illegible]

▲天勝再び演藝館 [illegible]

▲大正館 共進會の爲め一時[illegible]

●娼妓衞生講話 二十三日京城新町事務所に娼妓全部を召集し本町署より[illegible]署長代理德村警部の衞生に關する[illegible]

渾身の力を把手に籠めて

空飛ぶばかりの迅さで決勝線突破

協贊會主催全鮮自轉車大會成功

協贊會主催全鮮自轉車大會は午後二時四十分いよ〳〵豫選競走を終つて▲優勝旗戰に入つた、時に見物は場の周圍を十重八十重に取り卷いて西方の牛舍の中迄一杯に詰り東方は鐵道舘の樓上にまで一面に滿ちて居る、池中の噴水が秋日に映る、號砲に驚く水禽の群の啼を叫ぶ、選手の出發に連れて起る奏樂、觀客の歡呼の聲、決勝近きを報ずる鐘の音、拍手喝采、見るからに▲活氣溢るる許り、先づ番外堀谷寄贈の優勝旗戰から輪業組合優勝旗第三流、第二流、第一流の順序で勇しい競走がある、それから京城協贊會の優勝旗戰に入つて第三流選手について時間の都合から▲第一流選手の五十週大競走に入つたが中途大悶著があつた二十七週目で中止第二流選手競走に移り最後に一流選手の競走を再び開始する、時間の都合上今度は二十週にして號砲一發出發すれば十週頃からは各選手の競走漸次頂點に達し十六週十七週に至つては▲凄じい程の勢ひで空を驅けるかと思ふばかり、最後の二十週目で一時に鄭を拔いて第一が霞谷、第二鄭、第三山本の順序で大拍手大歡呼の裡に決勝線に入るかくて爆音轟々と自動自轉車數臺場を驅ける間を優勝旗押し立て二週し▲萬歲聲裡に大盛況を以て大會を閉ぢたのは午後五時であつた。當日各優勝旗戰の結果左の如し

京城協贊會優勝旗受領者 一流選手 霞谷君

自轉車大會優勝選手

▲番外[illegible]優勝旗戰 第一着[illegible]、第二着中住商店、第三着[illegible]

▲輪業組合優勝旗戰 (第三流選手)第一着(優勝旗受領者)百合正宗、第二着山本、第三着[illegible]

▲京城協贊會優勝旗 (第三流選手)第一着[illegible] (第二流選手)第一着(優勝旗受領者)[illegible]、第二着高木、第三着[illegible] (第一流選手)第一着(優勝旗受領者)霞谷、第二着鄭、第三着山本、第四着平井、

昌德宮內秋夜の宴

溫室の華燭と池塘の煙花相煥發す

李王殿下御招待の晩餐會は廿四日午後六時より昌德宮內にて開催されたり會場は植物園溫室內、芭蕉、椰子樹、ボーゲンビリヤの綠蔭を以て之に充て來賓には陸軍中將の正裝を召されたる李埈公殿下、瀟洒たる燕尾服の寺內總督、山縣政務總監を始め朝鮮貴族、總督府各部長官局長並に夫人、渡邊高等法院長、檜垣道長官、森海軍武官等の人々約七十餘名を算し、御主人側なる李王殿下にはこれ又燕尾服を召され妃殿下並に侍女の人々は青色の朝鮮服を召されたるなど眼を瞠むる許りの美しさなり、斯くて綠蔭に電光の相煥發する下美はしき御宴は約一時間の後に了りたるが李王殿下及寺內總督は庭前の池塘水亭の廣間に出られ此處にて再び茶菓をとらせられたるに折から秘苑の黑き森には十六夜の月高く輝き互り樹間がくれの電燈の光輝さへ無數の螢火の如く風情多かりしに聽て一發の煙花轟くよと見る間に伴、池畔は七色の藤棚、大火輪光彈などの眼覺むる許りなる煙花に圍まれ美觀言ふ可らず斯くて又劉喨たる音樂隊の奏樂裡に李王殿下同妃殿下を始め來賓一同は水亭を辭して馬車自動車を驅り仁政殿に向はれたるが此處にては又丹壁朱殿に花の如き電光の煥發する下天勝一座の奇術、曲藝、西洋合奏、獨奏、羽衣舞等を演ずるあり演技中は李王殿下を始め侍從女官の人々さへ頗る打興じて觀覽せられたるが來賓も亦頗る滿足の態にて仁政殿裡和氣藹然たるものあり實に近來稀なる盛宴なりき、斯くて午後十時餘興を終るや別室食堂にて再び茶菓の饗應あり然る後ち此の夜の盛宴を了る

本日の共進會場

藝妓、妓生四百五十名の總見物 新舊俳優六十名の大假裝行列

又しても城南健兒の功名

盛んなりし第七回全鮮庭球大會

優勝旗鐵道選手の手に陷つ

正午過ぎ三十分で午餐の爲め休憩した本社主催の全鮮庭球大會は午後小春日和の南を受けて開戰、斑らだつた觀客は午後に及んで一時に數を增しコートの周圍を塔の如く取り圍み紫の小旗を振る鐵道野次團も聲援頗る振ひ出した第一回戰の殘部二會戰を濟まし午後二時から引續き直に第二回戰に移る時に多少の運不運はあるとしても兎に角精選せられた强の者が▼覇氣衝天の鼻息荒く相對し五回勝負會戰四回、八組の戰士は四組に洗練されたのだから興も第一回に勝るもの、殊に龍山鐵道組武間井田對京城ボーイスの松浦鈴木の會戰は何を言つても一方は龍山の勇將、他は京城側の驍將とて選手側の意氣込は槊より數千の觀客へ手に汗せしめた一體鐵道の第一選手は武間と內藤で通つたのに內藤は頃日來腸窒扶斯で入院呻吟中とあつて第二選手の井田が武間を組だ譯だが井田とても▼鐵道では響いた豪の者、內藤の代理として其名を耻かしめないだけの腕はある然も茲に一度期待せられてゐた早稻田で聞えた商銀の岡部が丁度同銀行の運動會と衝突して顏出しが出來なかつた爲め觀客の興を削ぐ事尠くなかつた岡部と鈴木を組ませて京城ボーイスと戰はせたら個々內藤も休んでたものゝ面白い勝負が見られたらうにと今更に惜しまれるしたが兎に角勝負は續けられた

▲優勝戰

鈴木福田(スタンダード會社)三—一 藤原泉(仁川)

坂本大塚(龍山)三—一 福生古澤(京電)

武間井田(鐵道)三—二 松浦鈴木(京城ボーイス)

矢野大內(鐵道)三—〇 松浦鈴木([illegible])

小城名譽審判長以下審判長南(滿鐵)本間(京城電氣)高橋(鐵道)の三氏の嚴肅なる審判振り堂々と更に第三回戰に移つた頃は觀客の熱狂其頂點に達し鐵道側からは横井、石川、安藤、中野。和田、鷲尾、伊東其他の諸氏▼熱心な顏を揃へたが殘された優勝組は鐵道側二組、龍山庭球倶樂部一組スタンダード組一組のみである若しも鐵道が連勝を破つて覇を全鮮に振はんには鐵道組二組と龍山組一組を破らねばならぬ其望を囑せられたのはスタンダードの鈴木福田組あるのみ惜しむらくは第二回戰で退けられた京城ボーイスの在らざる事を

▲決勝戰

武間井田(鐵道)三—一 坂本大塚(龍山)

矢野大內(鐵道)三—〇 鈴木福田(スタンダード)

武間井田(鐵道)三—一 矢野大內(鐵道)

憾くて武間井田組は龍山倶樂部を破りスタンダード組は矢野大內に破られ最後の決戰にて矢野大內は更に武間井田に碎かれ遂に武間の名をして▼覇者の名を成さしめて午後四時本社主催第七回庭球戰は終りを告げ紫句ふ優勝旗は更に鐵道倶樂部の占有する處となり三度萬歲を唱へた野次團に取圍まれつゝ戰士は意氣揚々引揚げて行つた

優勝旗鐵道倶樂部選手の手に落つ

今晚午後七時から家庭博で筑前琵琶があります

(演奏者水波旭櫻 東原旭扇の兩氏)

家庭博覽會

寄せたりなく

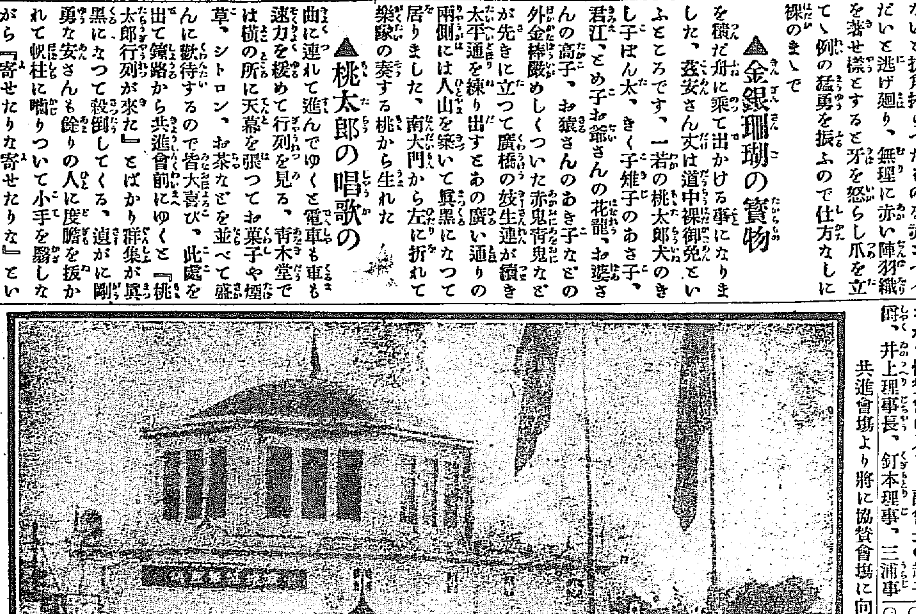
見物の人山に安さん喫驚仰天の事

日本一の桃太郎行列の珍談

裸道中御免=青木堂明月舘の接待 電車も停る=趙子爵以下の大歡待

桃太郎行列の花形お猿の安さんは緋縅の鎧の樣な女の著る樣なものは著ないと折角拵らへたものを赤いベイだいと逃げ廻り、無理に赤い陣羽織を著せ樣とすると牙を怒らし爪を立てゝ例の猛勇を振ふので仕方なしに裸のまゝで▲金銀珊瑚の寶物を積だ舟に乘て出かける事になりました、茲安さん丈は道中裸御免といふところです、一若の桃太郎犬のきし子ぽん太、きく子雉子のあさ子、君江、とめ子お爺さんの花龍、お婆さんの高子、お猿さんのあき子などの外金棒嚴めしくついた赤鬼青鬼などが先きに立つて廣橋の妓生達が續き太平通を練り出すとあの廣い通りの兩側には人山を築いて眞黑になつて居りました、南大門から左に折れて樂隊の奏する桃から生れた▲桃太郎の唱歌の曲に連れて進んでゆくと電車も車も速力を緩めて行列を見る、青木堂では横の所に天幕を張つてお菓子や煙草、シトロン、お茶などを並べて盛んに歡待するので皆大喜び、此處を出て鐘路から共進會前にゆくと『桃太郎行列が來た』とばかり群集が眞黑になつて殺倒してくる、流石に剛勇な安さんも餘りの人に度膽を拔かれて帆柱に噛りついて小手を翳しながら『寄せたりな寄せたりな』といつた樣な恰好をする、共進會では閲覽入口を開いて迎へ中に入ると▲此處も又人山が造られてゐる取締りのお巡りさんが聲を嗄らして群集を分てくれる樣な騒ぎだその間を安さん時々齒を剝きながら協贊會に入ると副會長の趙子爵、井上理事長、釘本理事、三浦事務長、大垣京通社長阿部社長が出迎へて角力舘跡の桃太郎休憩所に運込んで大に歡待してくれる、桃太郎の勢ひ安さんの威力も盛んなものだ

▲ゾロ〳〵跟いて 此處でシトロンやお茶を飲んで出ると矢張り啞んだ人だかりで[illegible]る、行列は明月舘に立寄り濬山御馳走になつて意氣揚々と引上げてくると直ぐにカチ〳〵山で花月のいさむ、若一、金太、その他の等の地でお囃連八人の活潑な桃太郎踊があつて目出度く終りを告げたのは夕方であつた



共進會場より將に協贊會場に向はんとする桃太郎行列

○飛蟲になれて百戸の秋祭り 平康 雷鼎
○秋祭り眉目秀でし鉢の稚兒 大田 玉川
○なす事もなく秋祭過ぎて鶏 交河 白萩
○秋祭り過ぎて淋しき田舍宮 京城 臨月
○秋祭り吾八與作の揃衣 京城 玉泉子

讀者文藝 (一等には五十錢の郵便切手贈呈)

俳句題「秋祭」

○句行燈に餘の影や秋祭(一等) 大田 風骨
○秋祭り神輿を逃ふ夕日かな 京城 中村生
○秋祭り仕丁殺入千鳥足 京城 風外
○秋祭りめたと踊にも花新 京城 紫明
○秋祭り閭かにはたく大幟 沙里院 曉泉

菊花大會

●場所 共進會場內慶會樓階下

●期日 十月二十四日より二十八日まで

●觀覽 無料何人も入場御隨意

●景品 審査員に於て審査の上一、二等は相當の物品を呈す景品總數百八十六點 下五等迄は[illegible]

●出品 一人に付五鉢以上とし二十日以降迎秋門より持込れたし

京城協贊會

倉橋惣三先生監修

日本幼年

十一月號 (定價拾錢 郵稅壹錢) (半年郵稅共六拾參錢 壹年同 壹圓武拾錢)

□繪の美しいこと一等
□噺の面白いこと一等
□紙數の多いこと一等
□値段の安いこと一等

三歳から十歳までの子供繪雜誌 玩具ともなり教育ともなる

(婦人畫報 少女畫報 日本幼年) 發行所 東京京橋區[illegible] 振替[illegible] 東京社

少女畫報

十一月號 (定價拾五錢 郵稅壹錢五厘)

===畫報===
□高御座と紫宸殿 □女學校と音樂會 □竹屋の渡の今昔 □少年バザー □黃葉白菊 □秋の宮島 □パラソルの行列
□御帳臺と大嘗宮 □秋の笑面の瀧 □女學校の記念式 □鏡に映つた顏 □女學校武術試合 □露國小八園 □東子と花と

===讀物===
□寫眞小說 南洋の花…推琢燕華
□原色版 秋の名殘
□オフセット版 小春日和…細木原靑起
□健康な身體…寺田勇吉 □盲目の少女…和田古江 □忠烈な少女…村上武次郎 □馴鹿と花苔…伊藤博士 □寫眞行脚…有田曉華
□紅葉する頃 女學校評判記 □君泣き給へ □松茸料理 □少女寫生
□御大典を祝し奉る…倉橋惣三 □看護婦の生活…和田古江 □阿呆鳥の話…石川博士
□小鳥の歌…尾島菊子 □雛さ妹…野上彌生子 □兄の家…田村俊子 □秋の家…伊澤みゆき
□眼の表情 □秋の手紙 □少女の新聞 □懸賞募集
□秋雨降る夜…瀬戸浪畑 □黑髮船長…石塚月亭 □親ごゝろ…和田古江

共進會の賑ひ

二十五日は午前十時より藝妓、妓生數百名の共進會總見物あり百花一時に妍を競ふ、又午後一時半より新舊俳優七十名大假裝行列を催し處々にて演藝を爲す抱腹絶倒奇想天外より落つるものあらむ

京城協贊會

文藝倶樂部

十月十五日增刊

講談落語 めでたづくし

幸助餅…桃川若燕
めぐりあひ…柳亭左楽
三味線栗毛…[illegible]
浮沈女一代…猫遊軒伯知
鹽原多助…小金井芦洲
安藤帶刀…錦城齋典山
二代目三次…神田伯山
本膳…柳家小さん
孝子の鑑…三遊亭圓右
田沼騷動 智慧袋…[illegible]
松前名人初代 五郎兵衞…[illegible]
中村仲藏…[illegible]
ふれんど…[illegible]
御大禮と際物…[illegible]
試十郎兵衞屋敷…大塚岸二
俳優と河鹿…鈴木春浦
上海の料理屋と僕と藝妓…[illegible]
拾遺落語の落…[illegible]

定價廿五錢(郵稅二錢五厘) 東京日本橋區本町 博文館

千生瓢 (22)

須藤南翠作 筒井年峰畫

雪深 (七)

『はゝは、是れ父上より賜つた絹ぢや。越前の絹を、能登者に問く法があるのか?』

利長は興ありげに笑つた。

『御意の通り、越前の絹は世に名高くなりまいた。是れ誰の恵みおざりまする。元来越前といはず、北陸道は土地寒く、雪深うして耕作の時も短く、一ケ年に三分ケ一は、作毛も如意ならぬ國柄おざりまする。其がために百姓は貧しく、遊惰の癖出でゝ國の疲弊甚だしうおざつた。柴田殿この憐れむべき百姓に、何とかして産業を授け、冬四月を徒に過さぬ工夫もと、俄に養蠶の業を教へ、糸繰の業、紡績の業、織物の業と、其々の道の工匠を上方より迎へて、懇ろに教へ導かれた、それおざる。若殿の召し料、我等の衣料、これ皆柴田殿の、手づから織らせられたも同じ産物、越前の貧しい民は、柴田殿の恵みに依つて、世に勝れて富むだ民となつておざる。さらば、柴田殿は甲冑の豪傑ばかりでおざらぬ。鬼神でもおざらぬ。鬼柴田ではおざらぬ。斯やうな細心の政事、筑前殿の智慧と申せど、如何おはさうぞ。我等の柴田殿に心服して、其節度を受くるのは、是が爲めおざりまするぢや』

九郎左衛門は、滔々として勝家の徳を數へた。敵に臨んで豪放不羈、無人の野を行くが如き鬼柴田が、民に臨んで細心精慮、慈母の子を愛する如き佛勝家であらうとは、利長ならずとも、何人も思ひがけない事であらう。但し九郎左衛門が數へ立てる所は、正しく事實である。善政の善績は歴々として著はれてゐる。彼の人にして此の徳があらうとは、全く豫想外の事であつた。

『さらば、九郎左は父君に代り參らせ、此一戰に粉骨の忠功を抽でよう氣か』

利長は直に切り込んだ。九郎左衛門は莞爾と笑つて、

『若殿先陣を打たせられれば、九郎左二陣の承はつても、苦しからぬかと存じまする』

『何と言ふ?』

『若殿、柴田殿は兎に角、佐久間殿の下知を破つて、死戰の御覺期おざりまするか』

『やッ』

『北畠殿を差置き、神戸殿を立つるさへ、長幼の序を紊りたるに、正嫡の三法師公を敵とし、他家の嗣子を奉ずるは、正しく逆なりと思召して、此一戰畢竟柴田殿に聞かせ給ふ、御運の末と思ひ極め、夫故の先陣御所望と、九郎左はお察し申しておざる。御本意如何』

『今に始めぬ九郎左が明察。先づ先づ前田の家は萬全おざるわ』

利長は欣然として、意中を語り出た。

『三月上旬旗出しと承はり、二月下旬より人馬を調へ相待つ處、更に催促の状が参らぬ。越前の大手は木之芽峠、柳ケ瀬、賤ケ嶽の切所を取り斷り、先じて敵を制する時は、百萬の大軍も、一歩も境を踰ゆる事はならぬぢや。然るに岐阜系名の戰ひに氣を緩し、雪の全く溶くるを待つ間には、思慮非凡なる筑前守、早くも賤ケ嶽に砦を構へ、我が出鼻を押へるは必定おざる。斯程の事に心著きなき修理殿ともおざらぬに、斯く後手を取らるゝ、畢竟武運の盡くる時と存じ申す。仍て先陣を申し請ひ、花々しく一戰して、二陣に代り、三陣に譲り、人馬を損せず、名を傷けず、家を全うせんとは、思慮致いた次第おざる。父上何と思召さるゝ』

『我等が意中は修理殿より知らるゝ、筑前守もよう知らるゝ。我等の病氣本復致さば、後陣を承はる。敗軍ともあらば、一時府中へ楯籠らう。但し我等より合戰は挑まぬ覺悟ぢや。筑前若し舊交を忘れて、大軍を以て圍まば、其時は武道の表、快戰は辭さぬわ』

利長は心中の秘を啓いて、九郎左衛門を顧みた。父子主從三人の心は期せずして一致したのである。

●畫家の見た共進會と家庭博(二)

矢尾大華畫伯

如斯理由の考へを加へて繪畫陳列室に這入たのである然るに是は亦それ以上に吾人をして失望せしめた往々好圖家の所藏或は博物場の陳列の中には大傑作に乏しき朝鮮繪畫に於ても中々見るべき逸品の無いことはない今美術館の繪畫を見るに僅々二十點に過ぎぬ而して中でも秦再溪の桃李園『筆者未詳の綠竹、玄齋の柳陰洗馬、魚夢龍の竹梅、謙齋の觀瀑觀祭使の歡樂圖、金明國の金泥描の天柱觀月、越榮秘の秋景山水、未詳逆に自驚等であらう、要するに美術館の美術は佛像鍮陶器に於てすら異彩を放ち、古人をして注意を拂はしめたのは殆ど共通的ではあるが其模様の精巧と其中に作者其人の表現を見出すものがあつたのは實に嬉しい現象で將來朝鮮美術の發達は其資料も多く長足の進歩をして來ると思ふ所謂朝鮮特有の偉を發揮する事が出來ると思ふ美術館を見た參考館と銘をうつてある以上内地でも知名の美術家の作家も傑作の一品も認め得なかつたのは遺憾である聞けば匆々の場合のことなれば其を求めるのは無理であらう是は第一號室に選ばれた鮮人畫家の某の秋穫の圖は宮殿下の御買上品だけありて忠實に描きなしたものである次の某の四幅山水は多門君の門人か何か知らんが御苦勞であると評して置く何を云うても枯舞臺を踏んで居る廣洋君の鴨緑江の冬と題した鴨緑江のスケッチ畫である小品ながら新鮮な氣の充ちた場中自用である玉瀧君の金剛山の春秋は何の印象もない畫であるが其努力に感謝するに於て金剛山を見せてもらつたと評しておく朝鮮畫家中第一と呼ばる、安中植氏の山水と花鳥は支那傳來の色彩で群青をよく扱うて居る聊か張彥遠の粉彩骨を沒す彩色の法に非ざるなりと云ふ嫌ひはあるがどうしても朝鮮第一人たるを失はぬ花鳥もよき出來である而し朝鮮畫家諸氏に特に注意したいのは淡彩の扱ひ方である何れを見ても色調が惡い夫から某氏の白木蓮は装飾畫でインコ鳥をよく描いて居た樣に思ふ頭を上げたら玉龍氏の關羽か張飛か馬で激流を飛んで居つた何處か神社にでも奉納する繪馬かと見たら屏風であつた第二號室は洋畫である矢張二十點位しかない某氏の牡丹臺戰景は當時を偲ばせ背水氏の牡丹臺は風景畫として可成大作であるが、餘りに下の方に置てあるので、見榮えがせなかつた和田一海君の牛追や陵路共に振うて居る吉田氏のゐとりの村は纎弱な技工ではあるが派出な彩色で人目を引いて居た日吉氏の水彩の雨の義州道はよかつた其他水田氏の熊ひ九野氏の夏、赤尊も凡て日本畫の出品より見好かつた審査を乞はずと云ふ審査員を見くびつた札も振うて居る呵々

晝は 手振り面白き新曲 千里の風 上瑪除與として 大福引あり

共進會 演藝館の夜は 博多二〇加 二十五日迄抱腹絶倒 入場料の宿換へ 十錢均一

新刊書御案内

書名	著者	定價
列強の外交政策	嶋川薪	一、五〇
人物と事業	横山健堂	一、〇〇
増訂和佛辭典	野村泰亨	二、二〇
うねうねり	晶子女史	.六五
花より實をとれ	嘉悦孝子	.八〇
最新養鷄法	中村孤月	.三五
アマゾン探檢記	中村直吉	一、〇〇
朝鮮より	宮原朝村	.五五
朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
結士細工樂燒製法	松村嵯吉	.四五
道草	夏目漱石	一、五〇
俳諧新五萬句	伊達秋航	一、八〇
女人國記	禿氏岳山	一、二〇
江戸時代史論	歴史地理	二、四〇
現代教育者眞生活	稻毛詛風	.九〇
醒めたる女	遠藤博士	一、〇〇
ブラジル移植民規相	伊東著	.九五
をりをりぐさ	跡見花蹊	一、三〇
接吻の後	紅雨女史	.七五
地獄	江馬修	.七五
日本農業道德論	宮武鐵治	.七〇
井上英和大辭典	井上十吉	二、五〇
新譯獨和辭典	登張信一郎	一、六〇

見え能はざる内容を以て多大の歡迎を受け居る『女の世界』の秋季定期增刊として發行されたるもの、男に甘つたるき戀物語のみを集めたるにあらず、飽くまで眞劍に飽くまで眞面目な研究的態度を以て選擇されたるもの、其數七十餘種、悉く浮華輕佻の分子の呑まれ居らざるは大に賞ふ可し。就中戀なはすれて人生なし(野依秀一)戀愛の進化(堺利彦)遊戲戀愛(青柳有美)神代の戀愛史(木村鷹太郎)平安朝の戀物語(與謝野晶子)平氏の戀と源氏の戀(永代美知代)女雛太平記(關根默庵)他れたる心理(安成貞雄)戀に現はれた女(長谷川時雨)戀といふもの(岡田八千代)瀕死の日の戀(下山京子)戀の一生(尾島菊子)等、[illegible]物語を始め高島米峰、山方香峰、ステンプソン等各教徒の戀愛觀に對して黑川動物園長、矢野牧野兩學士が動植物の生殖生化を說き猶面白き讀物として[illegible]朝者の筆になる英米戀の[illegible]に[illegible]村山[illegible]源氏の『お夏清十郎』柳[illegible]小せん[illegible]等三百三十餘頁何れも興味深き文字に富む、蓋し秋夜の讀物としてはこれに如くものなかる可し

●日向出向島印學生帽子の好評 東京出向島町吉安[illegible]店製造發賣の日の出向島印學生帽は最新形にして品質極良而かも堅牢なる上に低格低廉なるため學生間に非常に好評を博し賣れ行きが如く同店にては目下其製造に忙殺せられ居る由なり

大阪屋號書店 京城本町電話二〇八六番 振替京城二五七二

平壤 大和町 客室親切町 松岡旅館 電話三〇五番

蛇印 アンチピリン丸

かぜ ねつ 最良藥 大阪 東京 本舗 丹平商會

早く治る薬 よくキク薬

さむけ出で發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時本劑を服せば不思議の効あり(壹十錢、十五錢、廿五錢)にせ物有り蛇の商標に御注意

御下宿 十燭光電燈付六疊(御一人十二圓御二人十八圓五十錢)三八八圓五十錢宛 明治町一丁目(瀧川銃砲店横) 秋田屋

諸預金貸付爲替等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

株式會社 十八銀行京城支店 京城黄金町電話四二〇番、五八〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山旭橋町 電話一八番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢四厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店

衞生經濟 兼備の逸品 是非一度御試し下さい 見本足金四十錢(郵税不吉) 特約販賣 御希望の方は御照會を乞ふ

發賣元 東京市日本橋區小傳馬町 寺田淳平商店 振替東京八三六七番 電話浪花三八〇番 二八〇〇番

內科 小兒科 入院隨意 京城明治町(元善隣學校隣) 中島醫院 電話三七八番 院長 中島貞信

山まゆ織 染織堅牢價格低廉經濟的實用品也御注文は小包郵便代金引換を諾す見本進呈 (廣島市革屋町電話六八三番) 振替貯金口座大阪一三〇〇番 山脇胡三郎

七ふく ひえ参り 本家 大阪西津表門筋松屋町四 七ふくや 伊藤長兵衞 振替大阪九七三番 電南七貳九番

本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし、疝氣、寸白、(俗にひゑ、しつ、さ)胎毒、其他皮膚一切の諸病悶氣水腫等によし

價 藥 中週分七ふく入 金拾五錢 丸 壹週分十四ふく入 金參拾錢 三週分四十二ふく入 金八拾錢 五週分七十ふく入 金壹圓廿錢

有力なる 毛生劑 發育毛に就て院長の信用は世間の知る處也試み玉へ其他新式白色劑にきびそばかすの美顏料くせ毛藥等一切說明書郵券三錢要 東京駿河臺袋町九 電本一七一一番 東京美容院

時は寒さ ●無病の健康者と雖も病は罹り安すし ●病后●産後及虛弱の方には次亞燐が必要 衰弱の極に達せぬ中早く次亞燐服用あれ ▲定價 小瓶五十錢 中瓶九十錢 大瓶一圓五十錢

滿蒙處分論 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

米國ビクタートラップ會社製 獸類捕獲器 壹個壹圓五十錢 狐、狸、ヌクテ取器械

苗木草花販賣所 仁川濱町 京日仁川代理部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十一月四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月廿六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三翠丰丸 十一月十一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠丰丸 十一月二日後六時出帆
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行 天具丸 毎月二日九日十六日廿三日 千後十時出帆
釜山本町一丁目 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

第一共同丸 十月 十一月 日後二時入港 日前九時出港 支那、大連行
本船は芝罘寄港の際にて青島行定期船に接續御取扱仕候

第一阪鶴丸(元山出帆) 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 十一月四日 後九時出港

第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十月 十一月 日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 本町一丁目(電話一〇八番) 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
若吉丸 十月廿七日 後四時出帆
吉代丸 十一月三十日 後四時出帆
大有丸 十一月二日 後四時出帆
第二太湖丸 十一月 日 後五時出帆
○群山、大阪行 土海丸 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

京畿丸 十一月四日 釜山發
黄海丸 十月廿五日
成鏡丸 十月廿九日 十一月八日 門司より釜山各港寄港雄基間ごと
昌平丸 十月 日 元山發
鏡城丸 十月廿六日 元山發
能登丸 十月 日 元山發
忠清丸 十一月一日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
江陵丸 毎日 (釜山 浦項)發
嘉島丸 十月三十日 釜山發
三浦丸 十月廿七日 釜山發
海州丸 毎 日 釜山發
統營丸 三日目毎 木浦發
順天丸 木浦發
慶興丸 十月 日 木浦發
公州丸 十一月一日 木浦發
宗信丸 十月廿九日 仁川發
江原丸 十月廿五日 仁川發
麗水丸 十月廿九日 仁川發
晋州丸 十一月二日 仁川發
全南丸 毎日午前 仁川發
咸陽丸 十一月十六日 群山發
平安丸 十一月十三日 若松發
本社 京城南大門通 京城荷客取次店 松原運送店

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行 三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十月三十日 正午出帆
○大連、太沽行 高砂丸 十一月廿二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、下關、門司、神戸、大阪行
油頭丸 十月廿七日 午後五時出帆
須磨丸 十一月三日
溫州丸 十月三十日
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 十一月九日 午後二時出帆
▲天智丸 十一月二日
○鎮南浦、大連行 安東丸 十一月五日 午後二時出帆
天智丸 十月廿八日
○鎮南浦關門神戸大阪行 月 日 正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月二日 午後四時出帆
チヨイサン丸 十一月十四日
○大連直行 千珠丸 十月廿八日 正午出帆
チヨイサン丸 十一月八日
○清津、浦潮行(元山出帆) 地久丸 十一月九日 午後九時出帆
神宮丸 十月廿九日
▲城津丸 十一月四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿九日 午後四時出帆
安平丸 十一月六日
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との連絡取扱仕候 ○御乘船客は本船出帆前約一時間前御乘込を乞ふ ○×印は一等客御斷り△印は貨物御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇番五〇 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番